吹田市水道事業における

水道料金の改定について

公益社団法人　日本水道協会　関西地方支部
水道実務講習会（事務部門）

令和５年（2023年）11月21日（火）
大阪府 吹田市水道部

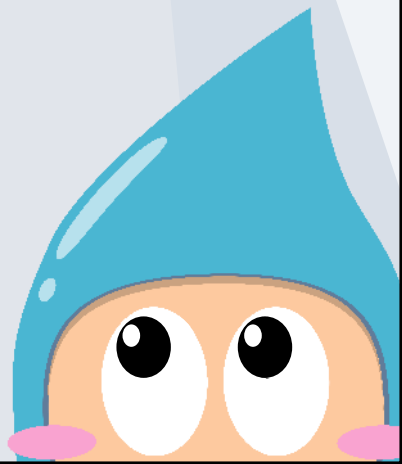
吹田市水道事業における

水道料金の改定について

内容

- 吹田市水道事業の**概要**
- 近年における**本市の料金改定**
- 料金改定を**どのように進めた？**
  - **料金水準・体系**の考え方
  - **市民の理解**を得るための取組
  - **議会**において**多かった意見・質問**
- 料金改定**実施後の状況**
- 料金改定に**備えて**

吹田市水道事業の**概要**



吹田市水道事業の概要

令和4年度末時点

国土地理院　地理院地図を加工して作成

人口 **381,238** 人

市域面積 **36.09** km²

令和2年（2020年）4月から

中核市に移行

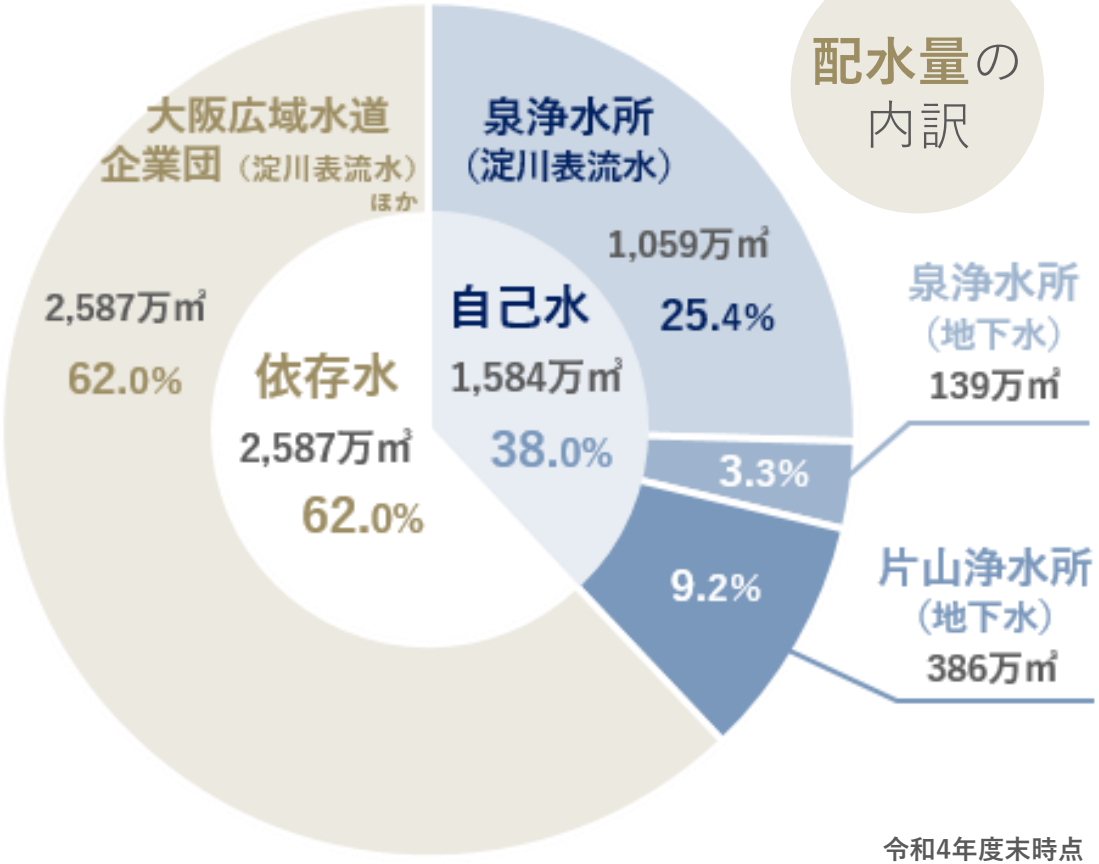
吹田市水道事業の概要

給水人口 **380,826** 人

配水量 **4170.7** 万㎥

管路延長 **738.553** km

配水量の内訳



令和4年度末時点

府内各市における水道料金比較

メーター口径20㎜、メーター料込、税抜、平成27年(2015年)3月31日現在

順位	使用水量 6 ㎥/月 料金(円/月)	
1	東大阪	608
2	岸和田	620
3	富田林	630
4	羽曳野	635
5	摂津	680
6	枚方	692
7	**吹田(現行)**	695
8	柏原	699
9	高槻	710
10	箕面	739
10	**吹田(H28)**	760
11	松原	760

順位	使用水量 1 0 ㎥/月 料金(円/月)	
1	高槻	790
2	**吹田(現行)**	815
3	藤井寺	845
4	大阪狭山	860
5	富田林	892
6	羽曳野	895
7	枚方	900
8	東大阪	902
9	池田	910
9	**吹田(H28)**	920
10	柏原	935
11	八尾	940

順位	使用水量 2 0 ㎥/月 料金(円/月)	
1	**吹田(現行)**	1,915
2	大阪	1,920
3	枚方	2,070
4	高槻	2,140
5	貝塚	2,190
6	茨木	2,200
7	富田林	2,202
7	**吹田(H28)**	2,220
8	豊中	2,270
8	**吹田(H29)**	2,300
9	堺	2,300
10	和泉	2,340

順位	使用水量 3 0 ㎥/月 料金(円/月)	
1	大阪	3,160
2	枚方	3,470
3	茨木	3,500
4	**吹田(現行)**	3,515
5	富田林	3,852
6	貝塚	3,940
7	和泉	3,990
7	**吹田(H28)**	4,020
7	**吹田(H29)**	4,100
8	岸和田	4,140
9	堺	4,150
10	守口	4,159

平成28年度
料金改定時の資料

安い料金を維持しつつ

異形管の取替、管路の内面更生など

管路の**長寿命化**
維持管理を**中心**に進めていた

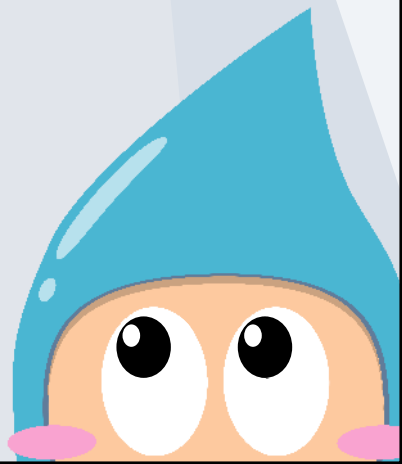
平成
27年度

経年化管路率

37.0%

全国平均：13.2%

近年における本市の**料金改定**



近年における本市の料金改定

平成28年（2016年）4月から

平均改定率 **10.0%** 値上げ

料金算定期間 **3年間**

令和2年（2020年）4月から

平均改定率 **15.2%** 値上げ

料金算定期間 **5年間**

平成28年4月から

段階的に

10.0％ 値上げ

19年ぶり

水道施設の
更新・耐震化
の財源確保

吹田市水道施設　マスタープラン
（H25.3 策定）

40年先の
水道施設の将来像

目指すべき
将来像

当初提案

段階的に **17.7％** 値上げ

料金算定期間 **5年間**

片山浄水所を
拠点施設に

地下水
が
水 源

片山浄水所

浸水想定区域　外
液状化の可能性が低い地域
自然流下の配水が可能
（電気を使用せず配水が可能）

水処理施設更新工事

膜ろ過する様子

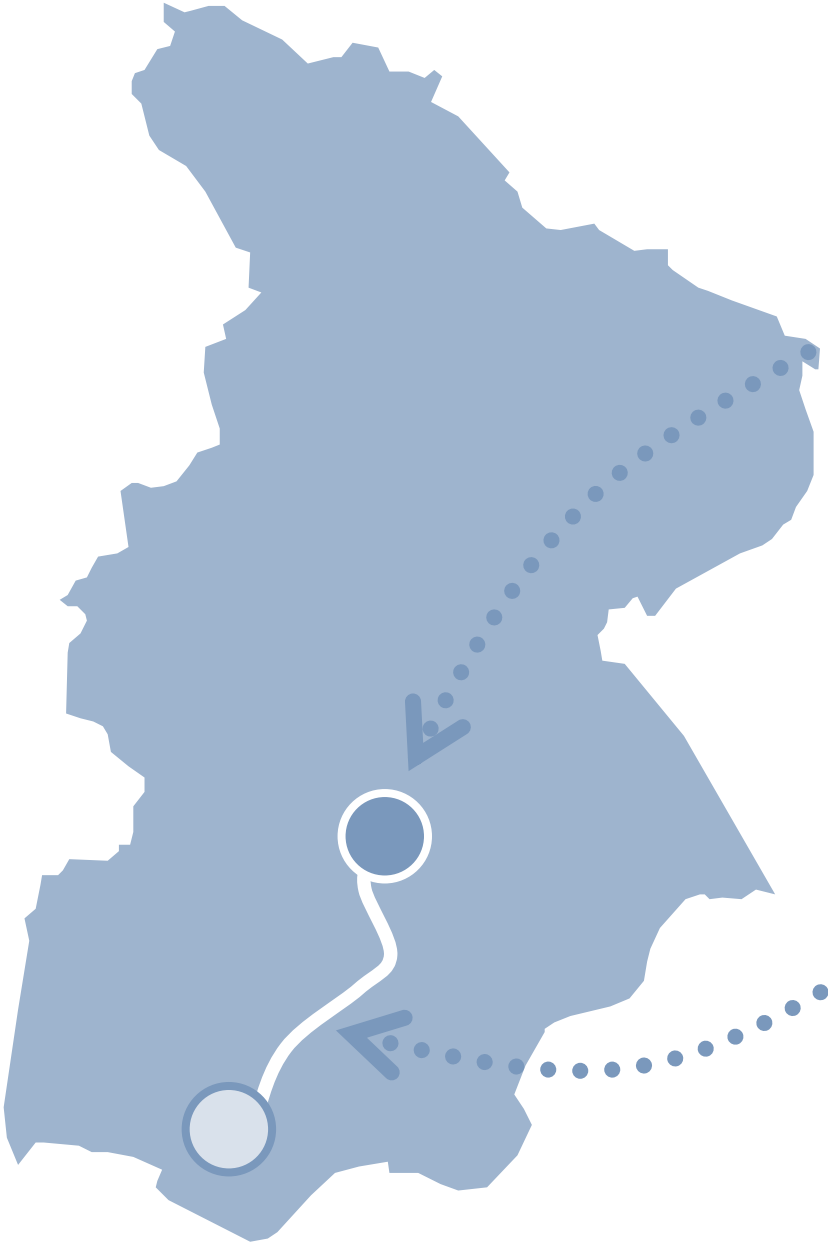
膜浸漬槽

淀 川
表流水が
水 源

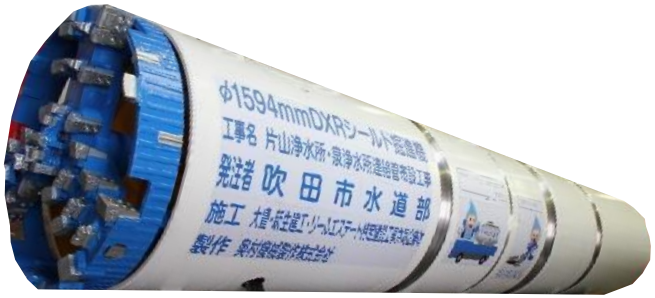
泉浄水所

浸水想定区域
液状化の可能性が高い地域
ポンプを使用した配水が必要
（電気事故等の影響を受けやすい）

具体化した工事



片山浄水所
水処理施設更新工事



片山浄水所・泉浄水所
連絡管布設工事

平成31年4月からの
料金改定**見送り**

大阪
北部地震

台風
21号

自然災害の**被害**による
市民負担の**増大を考慮**

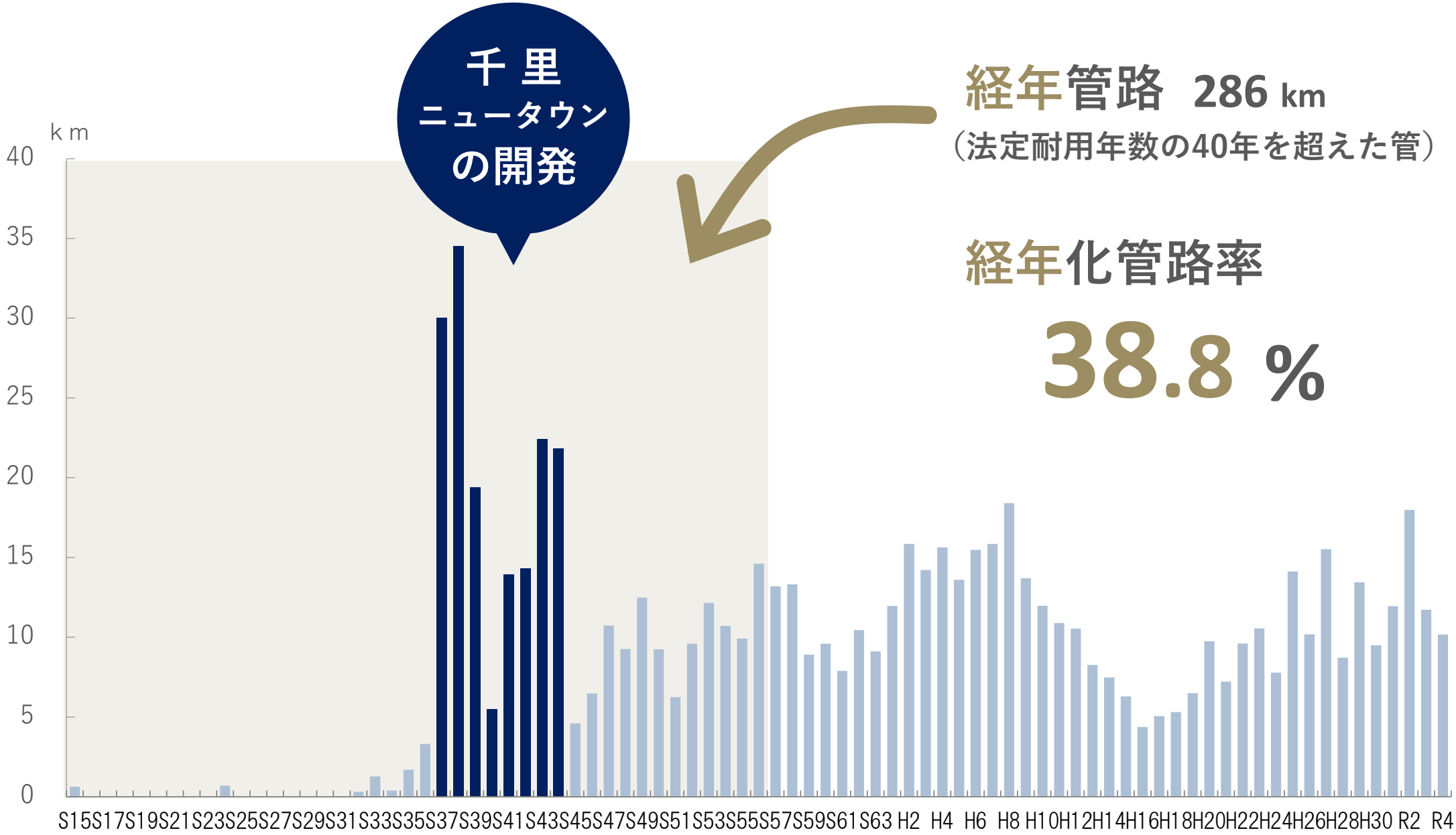
水道施設の
更新・耐震化
の財源確保

令和2年4月から

15.2% 値上げ

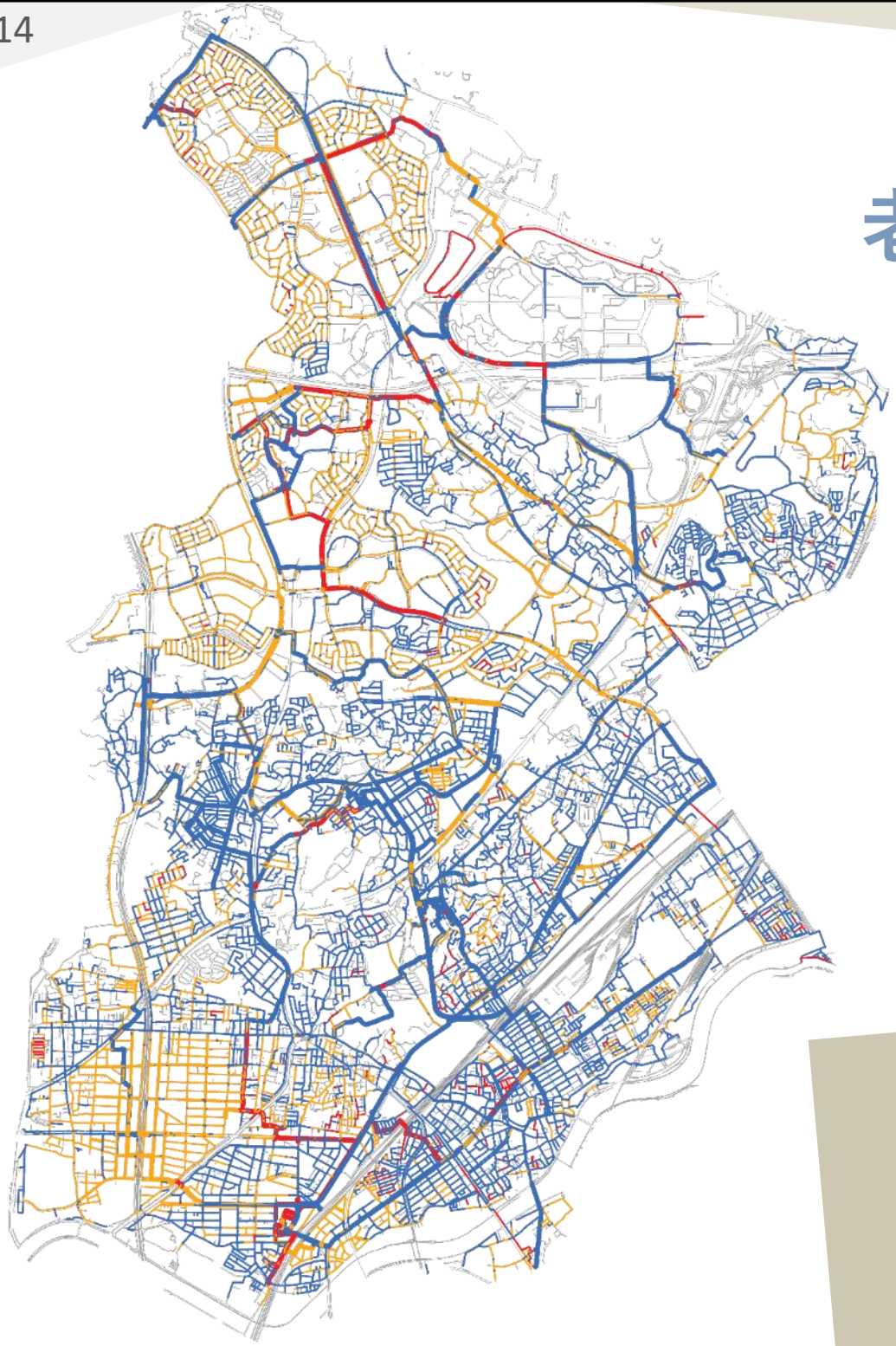
経営基盤の
強 化

布設年度別
導・送・配水管延長



経年管路 286 km
（法定耐用年数の40年を超えた管）

経年化管路率
38.8 %



老朽化（経年化）管路状況図

令和4年度（2022年度）末　時点

導・送・配水管延長　738.6km

経年化管路延長
（布設後40年超え）
286.3km

老朽化管路

吹田更新基準超え
- ：基幹管路　17.4km
- ：配水支管　20.7km

吹田更新基準以内
- ：基幹管路　13.5km
- ：配水支管　234.7km

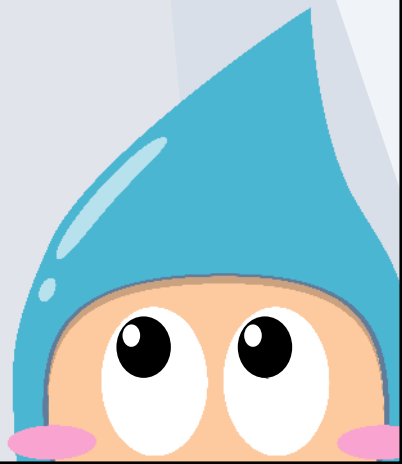
健全管路延長
（布設後40年以内）
452.2km

- ：基幹管路　56.6km
- ：配水支管　395.6km

経年化管路率

38.8％

料金改定を**どのように進めた？**



資産維持費
どうみたん？

市民説明は
どうしたん？

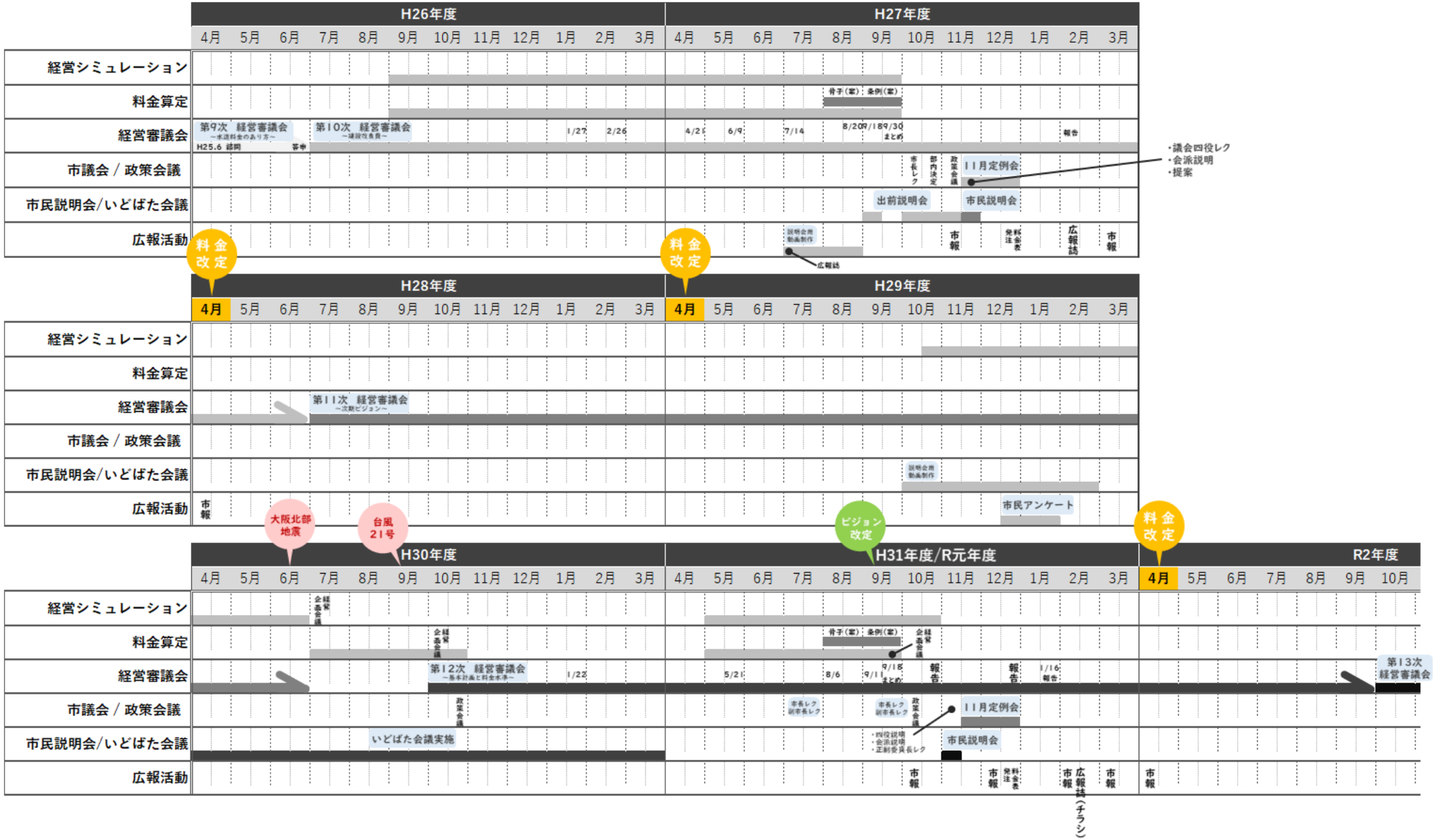
どんな
スケジュール？

議会の反応
どうやった？

何聞かれたん？

どんな スケジュール？

料金改定を
どのように進めた？



料金体系
算定の考え方

用途別？
口径別？

従量料金部分は

逓増制？
均一？

基本料金
割合は
どのくらい？

資産維持費
どないしよ？

公益社団法人 日本水道協会 発行

「水道料金算定要領」

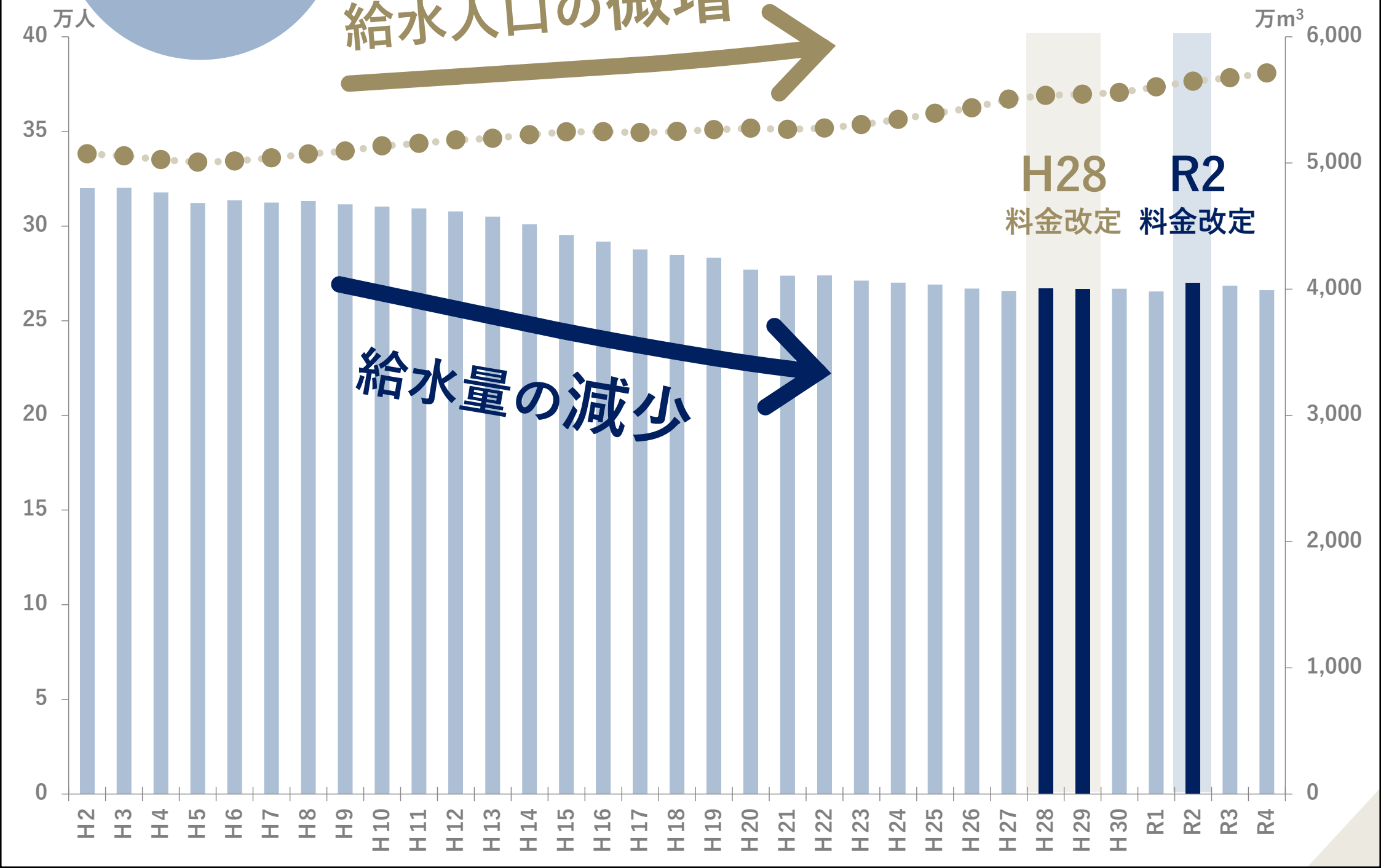
「水道料金改定業務の手引き」

＋

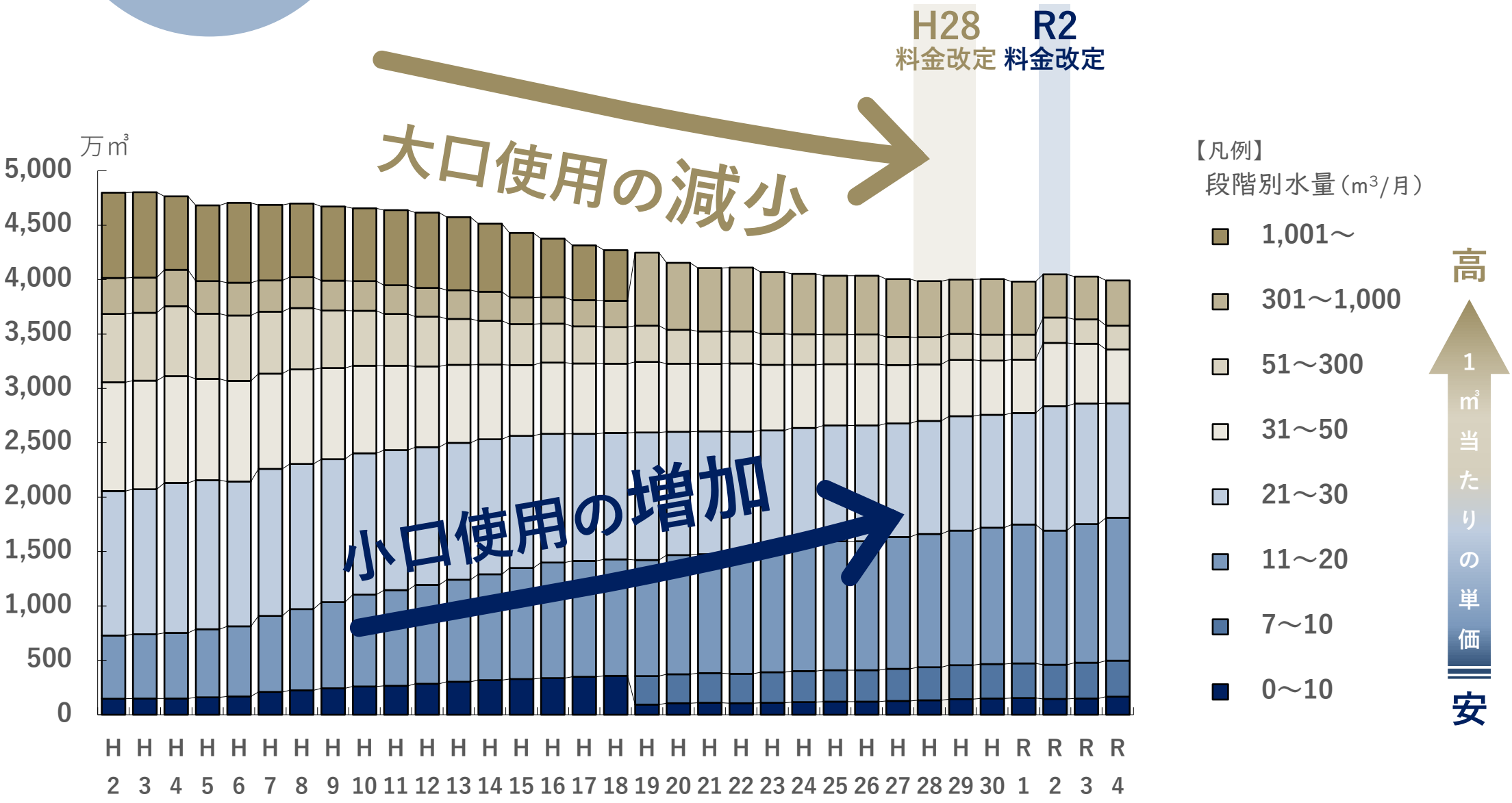
本市の考え方

料金体系
算定の考え方

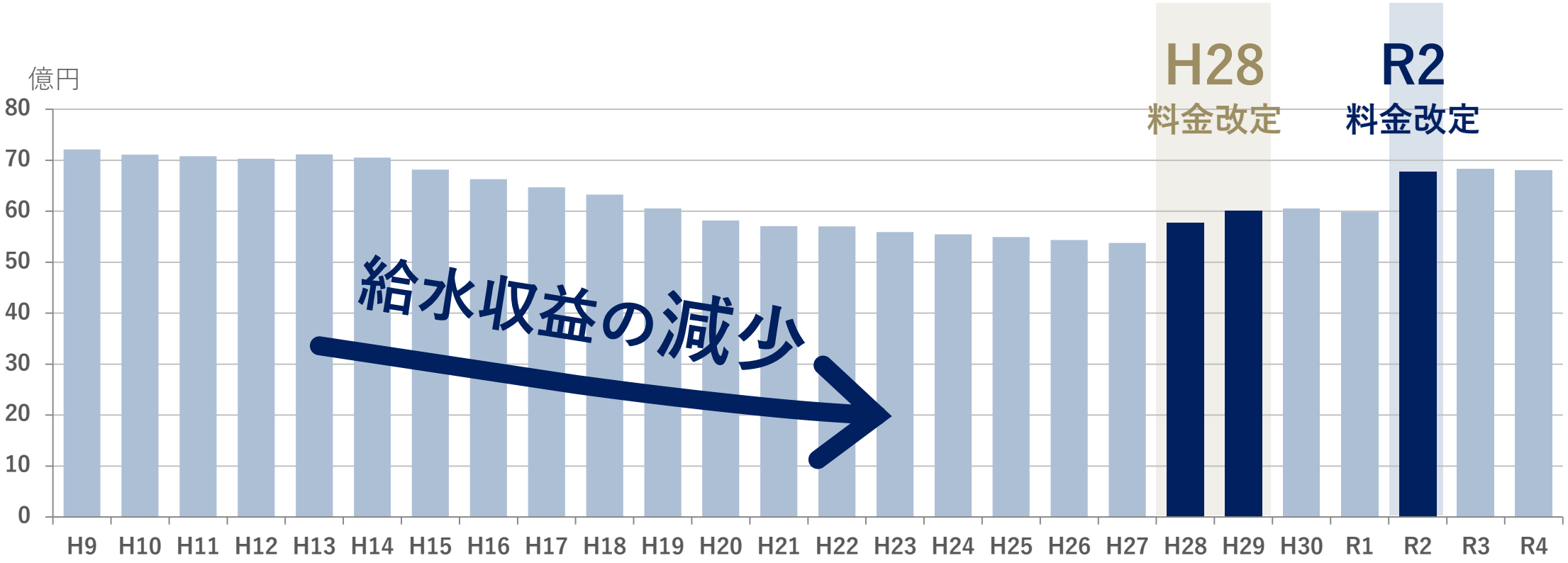
料金改定を
どのように進めた？



料金体系 算定の考え方

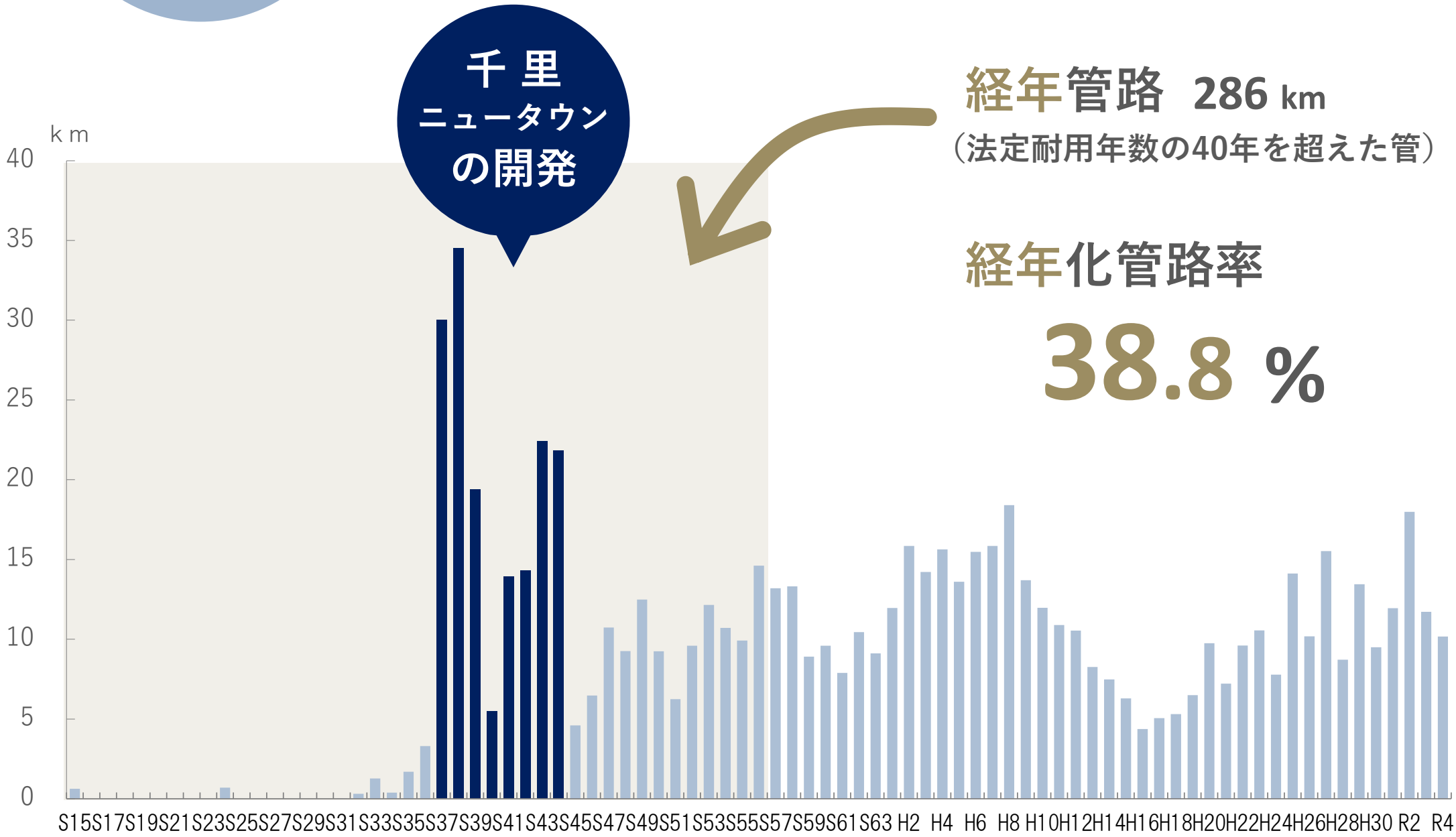

H28 料金改定
R2 料金改定
大口使用の減少
小口使用の増加
万㎥
5,000
4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4
【凡例】
段階別水量（m³/月）
1,001～
301～1,000
51～300
31～50
21～30
11～20
7～10
0～10
高
1㎥当たりの単価
安

料金体系
算定の考え方


億円
80
70
60
50
40
30
20
10
0
H28
料金改定
R2
料金改定
給水収益の減少
H9
H10
H11
H12
H13
H14
H15
H16
H17
H18
H19
H20
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
H30
R1
R2
R3
R4

料金体系
算定の考え方

布設年度別
導・送・配水管延長

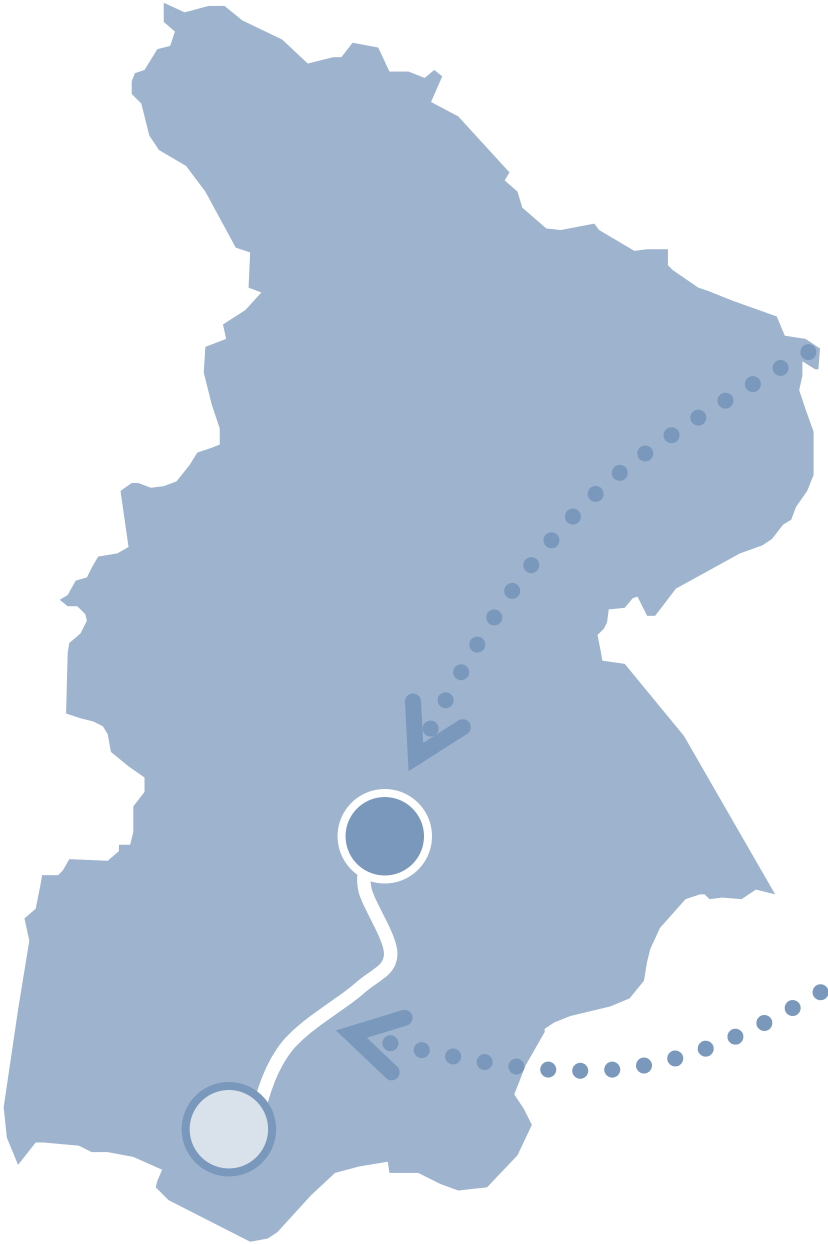


経年管路 286 km
（法定耐用年数の40年を超えた管）

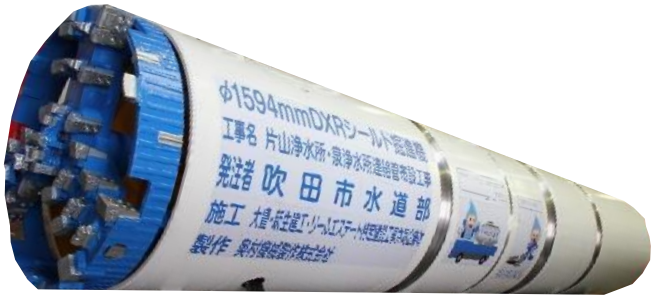
経年化管路率
38.8 %

料金体系
算定の考え方

具体化した工事



片山浄水所
水処理施設更新工事



片山浄水所・泉浄水所
連絡管布設工事

料金改定を
どのように進めた？

料金体系
算定の考え方

常設の
審議会です

吹田市
水道事業
経営審議会

第９次

今後の吹田市水道事業と料金のあり方について（答申）【平成26年6月】

- 安定的な料金収入確保に向けた
基本料金と**従量料金**の**配分比率の見直し**
- 受益者間の公平性を図る
逓増度の緩和と**逆ザヤの解消**
- 極端な見直しにならないように
配慮した料金設定

第10次

建設改良事業と財源のあり方について（意見書）【平成27年9月】

- 現状の用途別料金体系及びすべての口径において同一の基本料金であることについて、**改善すべき**
- 大量使用者に負担をかけすぎることには問題があり、適正な配分を十分考慮したうえで**逓増度を緩和**

第11次

水道事業経営の重要事項に関する調査審議について（答申）【平成30年5月】

- 健全な水道事業を次世代に引継ぐために必要な施設整備を見据えながら、また一方で地方公営企業としての不断の経営努力を重ねたうえで、**料金水準を定期的に検証**し、収支バランスを欠く事態が 予測される場合など必要に応じて、**適正な水準**となるよう**改定**すること

料金体系
算定の考え方

用途別料金

平成28年
4月から

口径別料金

受益者の**応分負担**

逓増型料金を継続

ただし、

逓増度は緩和

生活者への配慮

口径別件数割合

小口径（φ13mm～φ25mm）	99.0%
中口径（φ30mm～φ50mm）	0.8%
大口径（φ75mm～φ250mm）	0.2%

逓増度は緩和

一般家庭等への負担を配慮しながらも、**大口使用者との料金バランス**も考慮

料金改定実施年度	平成9年度（1997）	平成28年度（2016）	平成29年度（2017）	令和2年度（2020）
逓増度	4.5	3.6	3.3	2.9
最高単価	350円	310円	310円	330円
最低単価	77円	86円	94円	115円

基本料金割合の**変更**

水需要の影響が
軽減される

使用水量に**関わらず**
必要となる**経費**

例：水道施設の維持管理費、
減価償却費、支払利息等

使用水量に**対して**
必要となる**経費**

例：浄水に係る薬品費、動力費等

使用水量に**関わらず**
お支払いいただく**料金**

使用水量に**応じて**
お支払いいただく**料金**

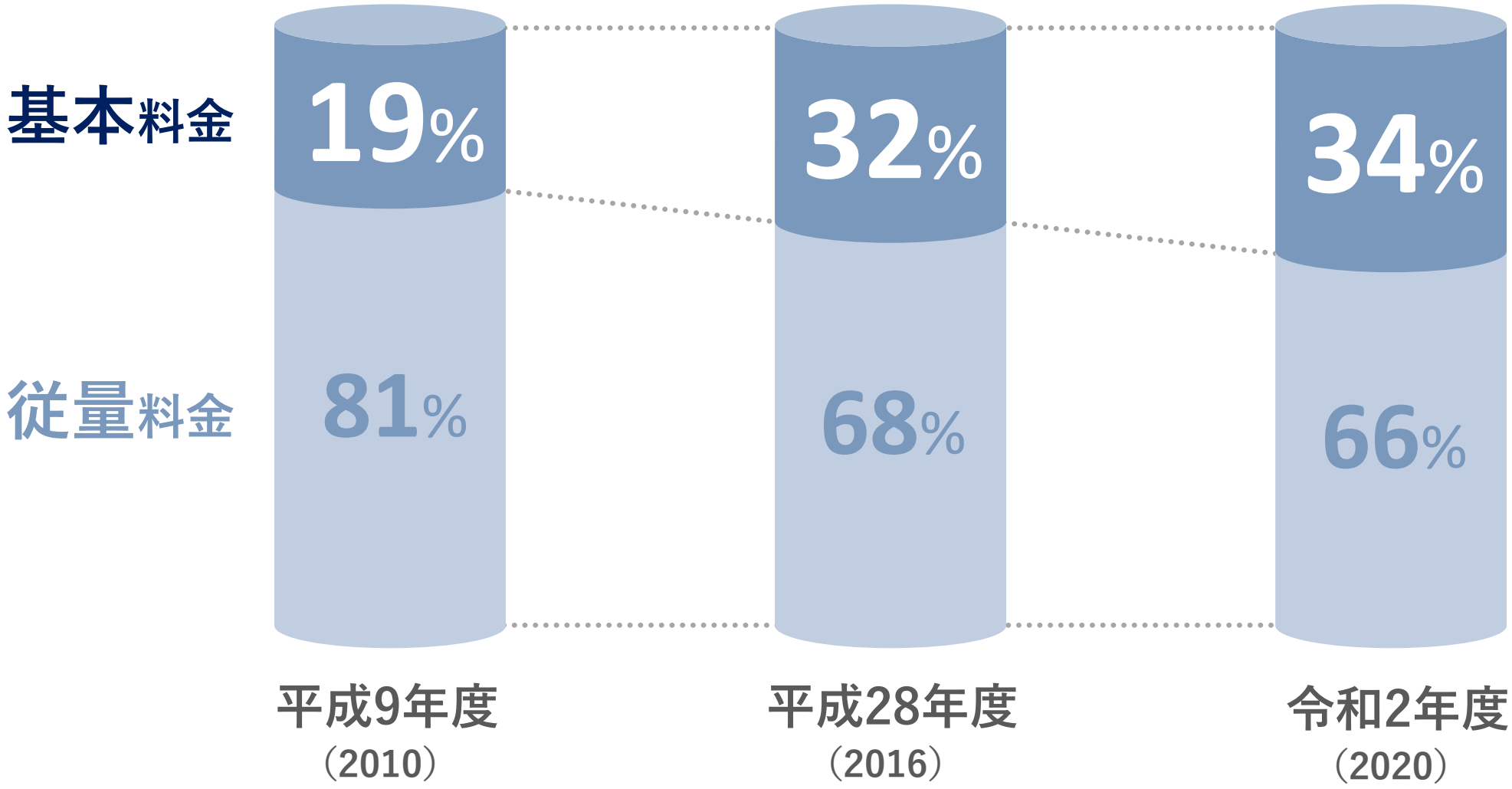
＜ 実際の料金設定 ＞

従量料金で
固定費の一部を回収

一般家庭等への
負担を考慮し、
基本料金は**低く設定**

基本料金割合の変更

極端な料金設定とならないようにしながら、**安定的な料金収入**を確保する



料金改定を
どのように進めた？

3．改定内容の詳細

21

3－6　原価割れの改善

現行料金では、メーター口径20㎜の全件数のうち約95%が、水道水の製造コストよりも安い料金設定となっています。残りわずか5%の使用者が原価よりも高い水道料金を負担することで全体の料金回収ができている状況で、より公平な受益者負担のために逓増度の緩和が必要です。

原価割れの状況

平成30年度(2018年度)決算　現行料金

3．改定内容の詳細

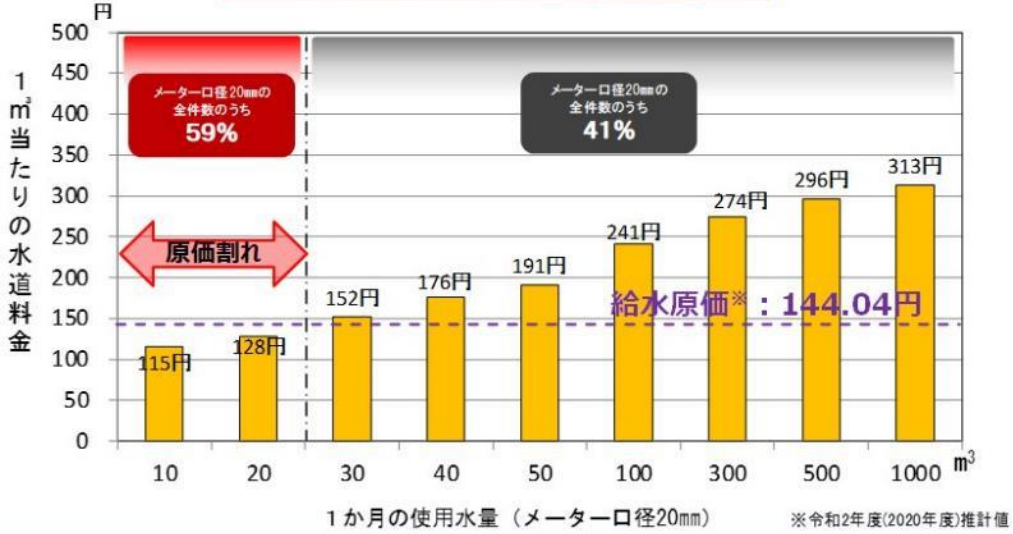
22

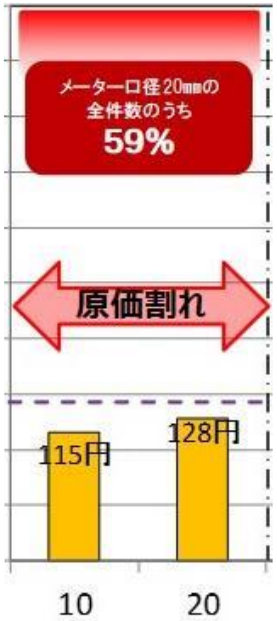
3－6　原価割れの改善

改定案では原価割れの割合を95%から59%に改善が見込めます。

原価割れの状況

令和2年(2020年)4月　改定案

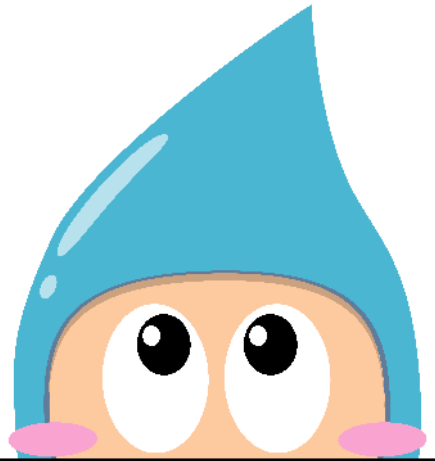




原価割れの**改善**

令和２年度
料金改定時の資料

総括原価に基づいた料金設定



総括原価

料金算定期間中の水道事業運営に
必要な費用の総額

営業費用　＋　資本費用　－　控除項目

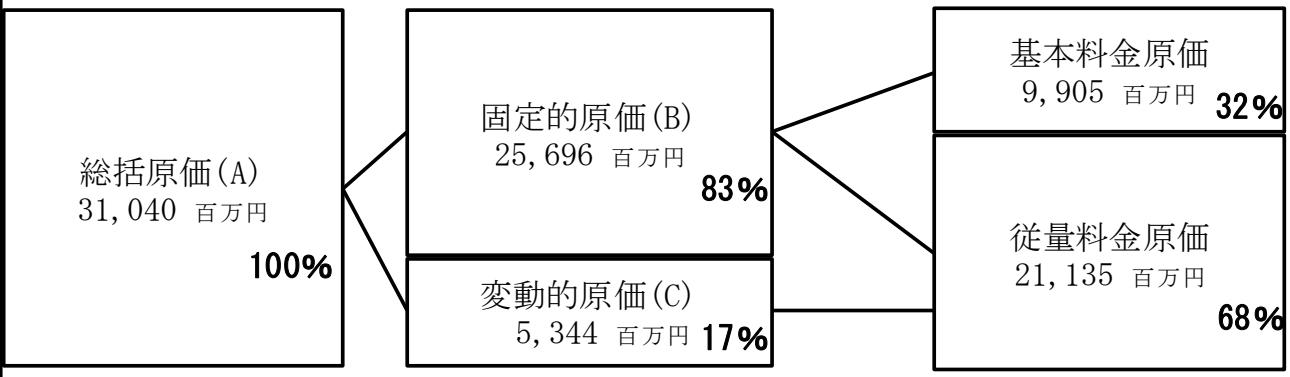
給水収益で回収すべき
費用の総額

料金算定期間（平成28年度～平成32年度）における総括原価構成表

総括原価（水道事業に必要な費用の総額）＝営業費用＋資本費用－控除項目

（単位：百万円、税抜）

費用区分＼原価区分		固定的原価	変動的原価	計	備　　考
営業費用	減価償却費等	5,813	－	5,813	
	受　水　費	5,665	3,776	9,441	受水費の４割は変動的原価に算入
	職員給与費	5,461	－	5,461	
	その他物件費	7,017	1,568	8,585	動力費、薬品費を変動的原価に算入
	小　　計	23,956	5,344	29,300	
資本費用	建設改良費	18,276	－	18,276	建設改良費+企業債元金償還金＝資産維持費
	企業債償還金	2,989	－	2,989	
	企業債利息	1,156	－	1,156	
	小　　計	22,421	－	22,421	
計		46,377	5,344	51,721	
控除項目		20,681	－	20,681	水道料金以外の収入等 （加入金、下水道使用料徴収手数料等）
総括原価		(B)　25,696	(C)　5,344	(A)　31,040	



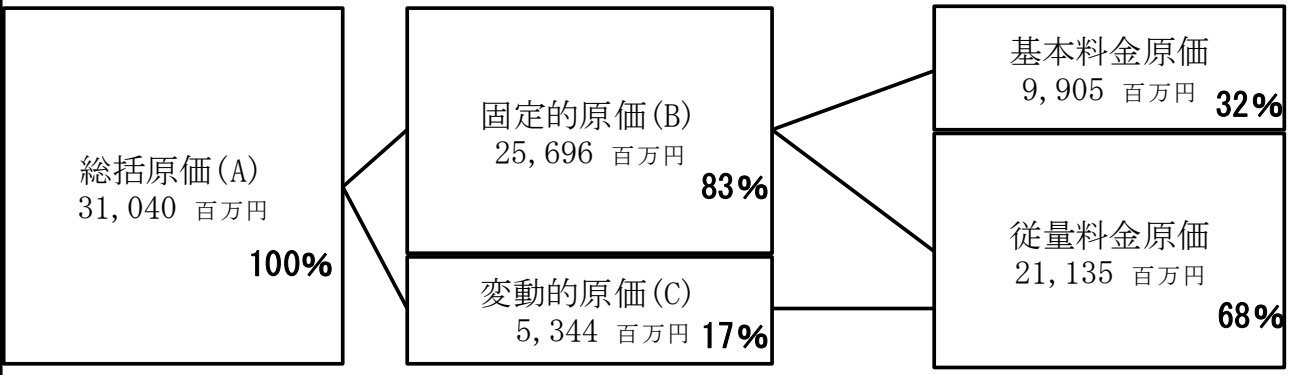
料金算定期間（平成28年度～平成32年度）における総括原価構成表

総括原価（水道事業に必要な費用の総額）＝営業費用＋資本費用－控除項目

（単位：百万円、税抜）

費用区分 ＼ 原価区分		固定的原価	変動的原価	計	備　　考
営業費用	減価償却費等	5,813	－	5,813	
	受　水　費	5,665	3,776	9,441	受水費の４割は変動的原価に算入
	職員給与費	5,461	－	5,461	
	その他物件費	7,017	1,568	8,585	動力費、薬品費を変動的原価に算入
	小　　計	23,956	5,344	29,300	
資本費用	建設改良費	18,276		18,276	建設改良費+企業債元金償還金＝資産維持費
	企業債償還金	2,989		2,989	
	企業債利息	1,156	－	1,156	
	小　　計	22,421	－	22,421	
計		46,377	5,344	51,721	
控除項目		20,681	－	20,681	水道料金以外の収入等 （加入金、下水道使用料徴収手数料等）
総括原価		(B) 25,696	(C) 5,344	(A) 31,040	

資産維持費



平成28年度の料金改定
議案参考資料

資産維持費

公益社団法人 日本水道協会 発行

「水道料金算定要領」

対象資産　×　3％を標準

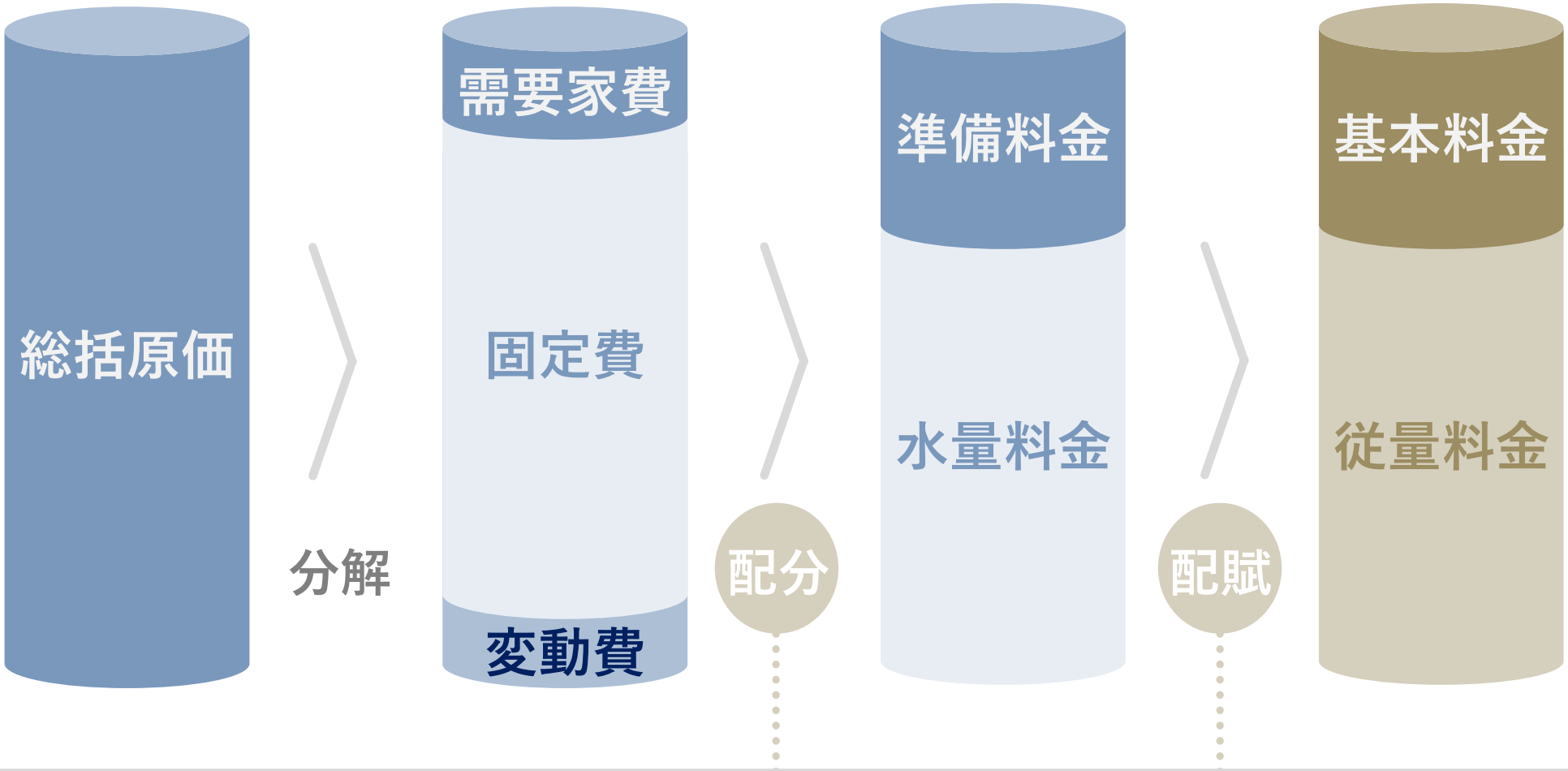
本市の場合

建設改良費　＋　企業債償還金

R2予算数値で、
検証してみると

対象資産の 2.6％

総括原価の配賦



理論流量比に「需要実態を考慮した補正係数」を乗じて割合決定

各事業体の考え方を反映

総括原価の配賦

本市の場合

最終的には料金表シミュレーション

逓増度緩和	基本料金割合増加	大阪府内料金順位	生活者影響額	大量使用者影響額

料金体系
算定の考え方

財政目標との関連

本市の場合

経営戦略と
位置付け

運転資金残高

目標 **25** 億円

企業債残高 対 給水収益比率

目標 **350** ％
程度まで

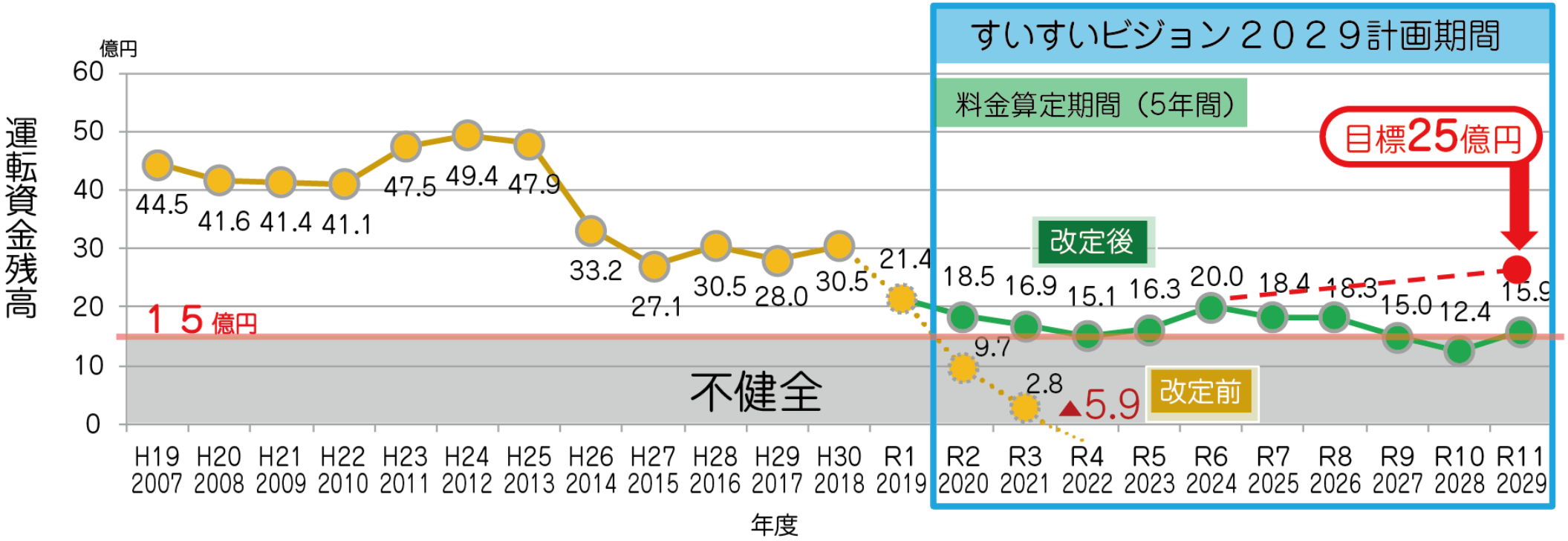
すいすいビジョン2029
令和11年度（2029年度）までの基本計画

財政目標との関連

本市の場合

運転資金残高

運転資金残高	目 標	＝	事業経営上の最低限必要な金額	＋	災害時に収入が途絶える期間の備え
	25億円		**15億円** （1か月の最大支払額＋翌年度の企業債償還金）		**10億円** （2か月分×5億円/月）

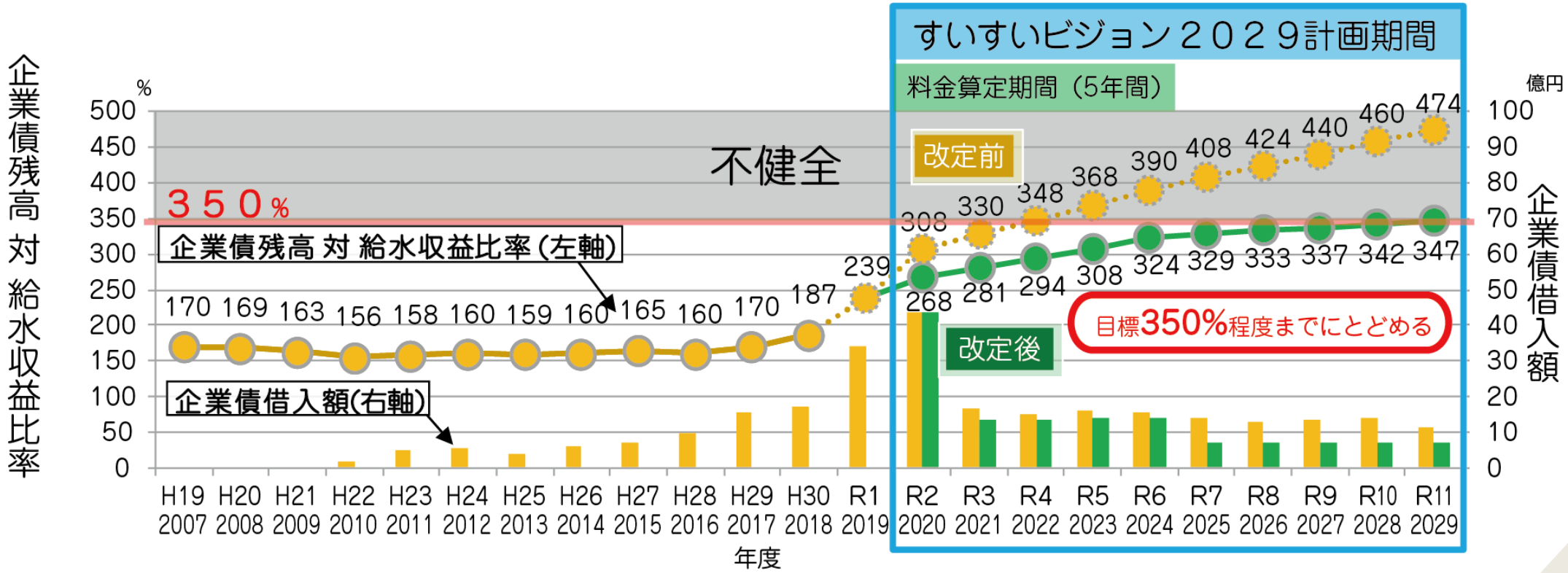


財政目標との関連

本市の場合

企業債残高 対 給水収益比率

企業債残高対給水収益比率	目 標 350％ 程度まで	企業債残高対給水収益比率に性質が近い**「将来負担比率」**の数値基準を参考にします。地方公共団体（市町村の一般会計）では、この指標が350％を超えると早期健全化団体になります。



特別措置

生活用水に対する配慮などから、

基本料金の軽減や

従量料金を**逓増制**又は**逓減制**とすることができる

＋

各事業体の

考え方・状況

給水条例改正

議会の議決が必要

市民の理解を得る

ための取組が重要

市民の理解を得るための取組

常設の審議会です

吹田市
水道事業
経営審議会

第９次

今後の吹田市水道事業と料金のあり方について（答申）
【平成26年6月】

- **積極的な情報提供**や**丁寧な説明**を行い、市民の理解と信頼を得る必要がある。
- 水道事業の現状や課題について**知っていただくことが重要**である。
- 多様な手法で広報活動をし、**市民に身近な問題として感じていただける**取組を進めること。

第10次

建設改良事業と財源のあり方について（意見書）
【平成27年9月】

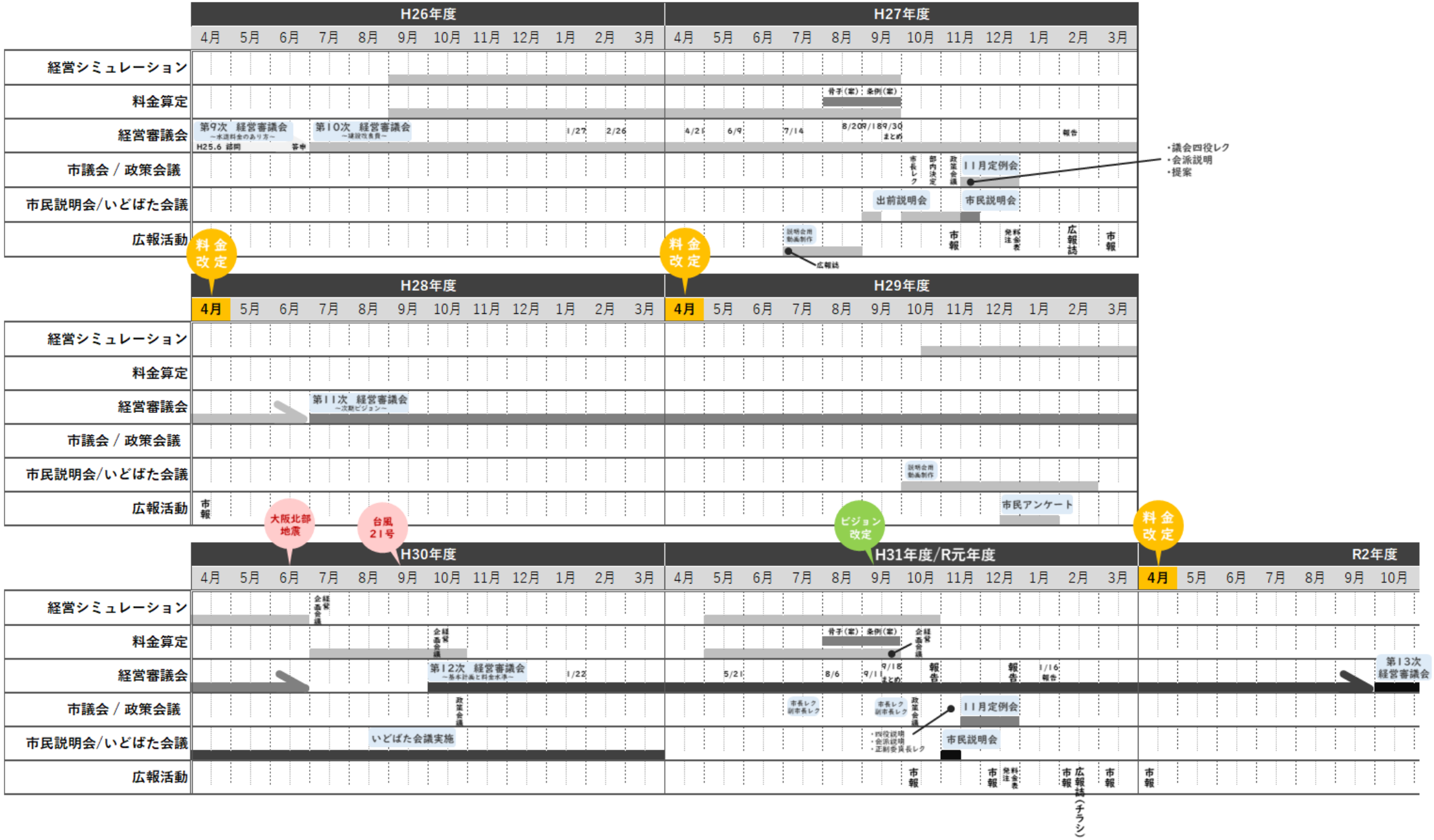
- 料金改定に当たっては、市民に対して、**丁寧で分かり易い説明**に努めること。

第11次

水道事業経営の重要事項に関する調査審議について（答申）
【平成30年5月】

- 水道料金の改定の際には、**市民の理解を得ることが重要**であることから、その必要性について、市民への説明並びに情報の提供に努めること。

どんな スケジュール？


H26年度
H27年度
H28年度
H29年度
H30年度
H31年度/R元年度
R2年度
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
経営シミュレーション
料金算定
経営審議会
市議会 / 政策会議
市民説明会/いどばた会議
広報活動
料金改定
第9次 経営審議会
～水道料金のあり方～
H25.6 諮問
答申
第10次 経営審議会
～建設改良費～
1/27
2/26
骨子(案)・条例(案)
4/21
6/9
7/14
8/20
9/18
9/30
まとめ
報告
市長レク
部内決定
政策会議
11月定例会
・議会四役レク
・会派説明
・提案
出前説明会
市民説明会
説明会用動画制作
広報誌
市報
発注
料金表
広報誌
市報
第11次 経営審議会
～次期ビジョン～
市報
大阪北部地震
台風21号
ビジョン改定
市民アンケート
第12次 経営審議会
～基本計画と料金水準～
1/22
経営企画会議
政策会議
いどばた会議実施
5/21
8/6
9/11
9/18
まとめ
報告
報告
1/16
報告
市長レク
副市長レク
・四役説明
・会派説明
・正副委員長レク
市民説明会
広報誌(チラシ)
第13次
経営審議会

市民の理解を得るための取組

水道事業への
理解を深めてもらう
身近に感じてもらう

- **出前説明会**
- **水道いどばた会議**

料金改定の必要性と
具体的な改正案の説明

- **市民説明会**

出前説明会

水道事業への**理解を深めて**もらう　**身近に感じて**もらう

いっしょに考えてみませんか「水道料金」のこと
<出前説明会申込みのご案内>

吹田市水道部

水道部では、現在水道料金の改定（平成 28 年 4 月実施予定）について、検討を進めているところです。

水道料金のことについて一緒に考えていただくために、料金の現状と課題及び地域における施設整備の状況などについて、ご要望をいただいた地域や集まりに職員が出向き、お話しさせていただく「出前説明会」を下記の要領にて実施します。

つきましては、ご希望される団体･グループは、下段の申込み用紙に必要事項をご記入の上 FAX 等でご連絡ください。

実施要領

1　実施内容：出前説明会「水道料金の現状と課題及び地域における施設整備の状況」
2　実施時期：平成 27 年 10 月末まで（日時はご相談させていただきます。）
3　所要時間：30 分程度～
4　実施場所：市内公共施設等（手配･費用は申込み団体･グループでお願いします。）
5　対　　象：市内在住在勤の方で概ね 10 名以上お集まりいただける団体･グループ
6　申込み･問合せ先：吹田市水道部 企画室 経営グループ　　担当：山村、森本、花谷
TEL　06-6384-1253、FAX　06-6384-1902
E-mail　w-keiri@city.suita.osaka.jp

出前説明会 申込み用紙

項目		ご記入欄（以下の太枠↓の中にご記入下さい）	備考・説明
1　貴団体（グループ）名			
代表者名			
ご連絡先（電話番号）			
2　ご希望日時	第1希望	月　日　時～　時まで	AM10時からPM9時までの間でお願いいたします。（土曜、日曜、祝祭日も可。）
	第2希望	月　日　時～　時まで	
3　ご希望場所	会場名		○○公民館、○○市民ホールなど
	所在地（住所）		公共施設等の場合はご記入不要です。
4　参加予定人数		名程度	概ね10名以上でお願いいたします。
5　その他、連絡事項等			

※申込みを受け付けましたら、こちらからご連絡させていただきます。

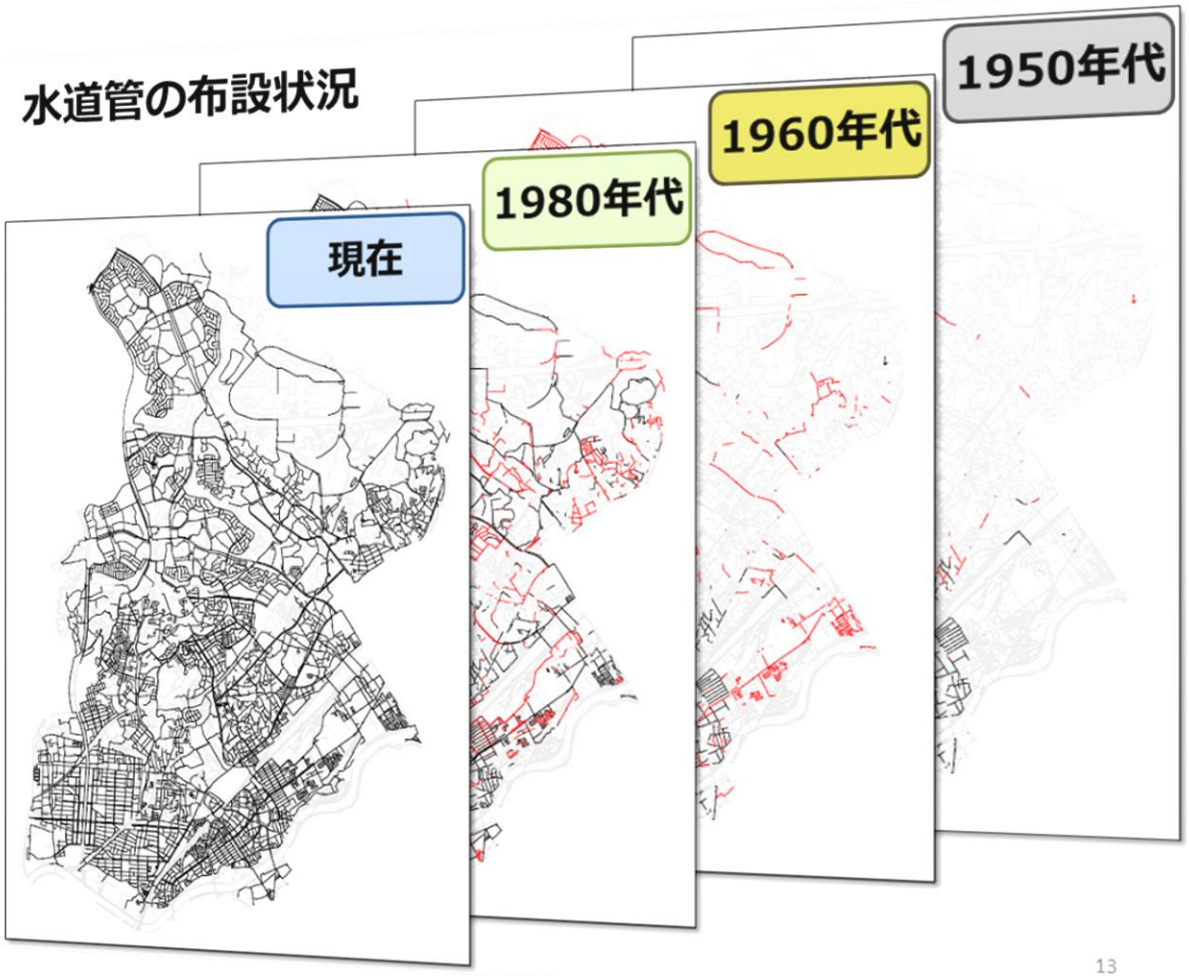
平成27年9～10月に実施

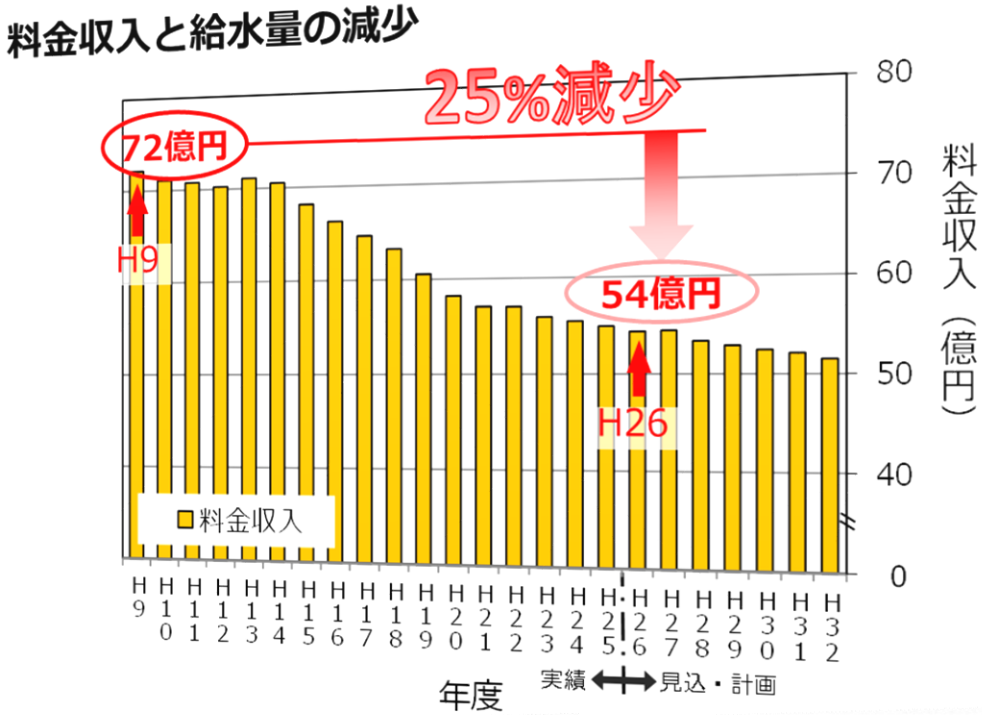
計 14 回

参加人数のべ 246 名

出前説明会

水道事業への**理解を深めて**もらう　**身近に感じて**もらう





出前説明会

水道事業への**理解を深めて**もらう　**身近に感じて**もらう

段階的に
値上げすべき

工事の予定

老朽化が
進んでいる
地域はどこ

水需要が
減少しているのは、
水道水への不安に
よる面もある

これからの水道を
考えると
値上げは
理解できる

市民の理解を得るための取組

水道いどばた会議 ～みずトーク～

水道事業への**理解を深めて**もらう　**身近に感じて**もらう

水道の**未来**について**一緒に考えてもらう**

平成30年4月～
平成31年3月に実施

計 24 回

参加人数のべ 488 名

市民の理解を得るための取組

水道いどばた会議 ～みずトーク～

水道事業への**理解を深めて**もらう　**身近に感じて**もらう

職員手作りの動画

ざっくばらんな雰囲気

EXPO'70—1—A0—9

吹田市 すいどう 月報

No. 93
編集兼発行
吹田市水道部
管理課
昭和43年9月発行

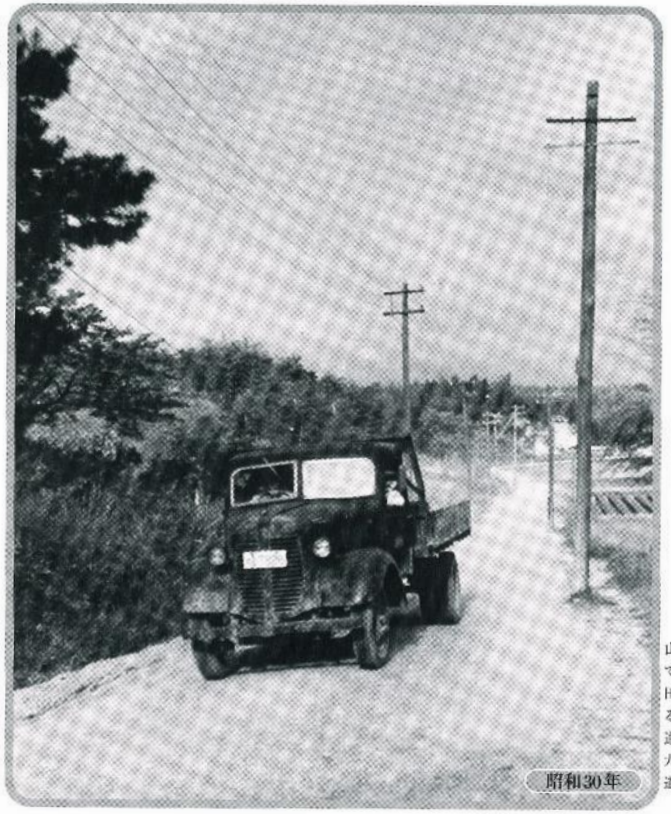
EXPO'70 OSAKA

入場者50,000人を突破

水道知識の普及と向上をはかる

万国博をひらくよい町よい市民 （吹田市万国博標語入選作品）

今竹（いまたけ）の坂 吹田市 今昔



山田上の三つ辻（山田東四丁目）で小野原街道から分かれ、上新田（豊中市）を経て岡町に通じる道の最初の坂道である。この道路を拡張したのは陸軍省で、九十九の燃料基地に通じる軍用道路であった。（野口昭雄氏提供）

山田西四丁目バス停付近。以前は人通りのほとんどない寂しい道であったのが、現在は阪急千里線山田駅と大阪モノレール山田駅とが交差するあたりで、大きなマンションが並び、通勤・買い物の人々の往来が絶えない。

水道いどばた会議 ～みずトーク～

水道事業への**理解を深めて**もらう　**身近に感じて**もらう

吹田市は、人口が増えているのに**水需要が減るのはなぜ**

水道事業の**民営化**について、吹田市はどうなるのか

独立採算制で事業運営していることを**もっとアピール**してほしい

災害で断水した場合**どうしたらいいの**

市民の理解を得るための取組

水道事業への
理解を深めてもらう
身近に感じてもらう

- **出前説明会**
- **水道いどばた会議**

料金改定の必要性と
具体的な改正案の説明

- **市民説明会**

市民説明会

料金改定の必要性と**具体的な改正案**の説明

水道料金改定に関する
市民説明会
市内6か所で開催

開催の主旨・概要

本市では、平成28年4月の水道料金改定に向けて、検討を進めています。
つきましては、「水道料金改定に関する市民説明会」を下記のとおり開催します。
この説明会は、水道料金改定案のほか、水道施設の現状・課題、現在進めている施設整備の概要などについて説明し、市民の皆様のご理解を深めていただこうとするものです。
※料金改定案は12月市議会に提出を予定しています。

【説明資料の一例】

開催日時と場所

お申込み不要で、どなたでもご参加いただけます。
各回とも説明内容は同じですので、ご都合の良い会場にお越しください。

とき	ところ
① 11月14日（土） 午前10時 ～ 11時30分	岸部市民センター 1F 研修室(1)(2)
② 11月14日（土） 午後 2時30分 ～ 4時	千里市民センター 8F 多目的ルーム(2)
③ 11月16日（月） 午後 7時 ～ 8時30分	メイシアター（吹田市文化会館） 3F 第1会議室
④ 11月17日（火） 午後 7時 ～ 8時30分	千里丘市民センター 1F 会議室兼練習室
⑤ 11月18日（水） 午後 7時 ～ 8時30分	北千里地区公民館 2F 会議室
⑥ 11月19日（木） 午後 7時 ～ 8時30分	豊一市民センター 1F 会議室

お願い
駐車スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関にてご来場ください。

お問合せ先 吹田市水道部 企画室 経営グループ
電話 06-6384-1253 FAX 06-6384-1902 E-mail w-keiri@city.suita.osaka.jp

平成27年11月に実施

計 6 回

参加人数のべ 72 名

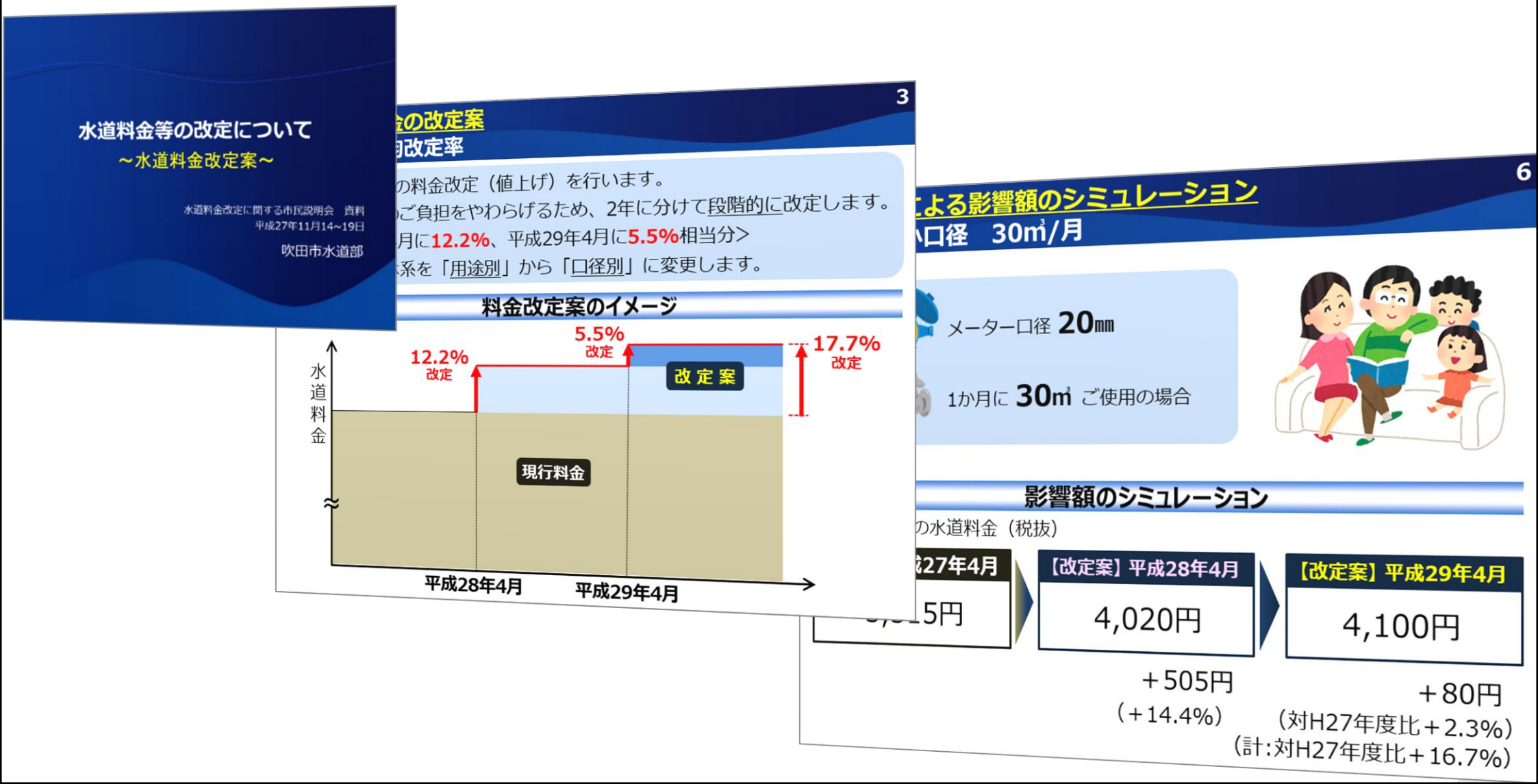
令和元年11月に実施

計 7 回

参加人数のべ 72 名

市民説明会

料金改定の必要性と**具体的な改正案**の説明



市民説明会

料金改定の必要性と**具体的な改正案**の説明

9

3．改定内容の詳細
3－1　改定後の水道料金の使い道

料金改定を行うことによって、水道水の供給単価（売り値）が上がります。
その水道水の単価の内訳（何に使われるか）などについてお示しします。

改定後の供給単価（売り値）の内訳とイメージ

水道水

- 水を造る 75円
- 水を送り届ける 21円
- メーター検針等 7円
- その他 10円
- 施設を整備する 45円

1,000ℓで **158円**
（1㎥＝1,000ℓ）
1m

※H26年度供給単価 136円

市販のボトル水
※ミネラルウォーター類

0.5ℓで 約**100円** ×2000本

水道法により、**51項目**の水質基準が、設けられています。

食品衛生法により、**39項目**の成分規格等が、設けられています。

13

3．改定内容の詳細
3－4－①　料金表の改定（平成28年4月12.2%改定）

平成28年4月時点、**平均改定率12.2%**を反映した料金表をお示しします。

料金表の新旧対照表

【現行】料金表「用途別」

用途	基本料金	超過料金(1㎥当り) 区分	
小口専用	600円	7～10㎥	30円
		11～20㎥	110円
一般専用	650円	21～30㎥	160円
		31～50㎥	210円
集団住宅用	600円	51～300㎥	260円
		301㎥～	310円
家事共用	600円	7～10㎥	30円
		11㎥～	110円
公衆浴場用	基本料金なし		75円
臨時用	基本料金なし		450円

メーター料

13㎜	20㎜	25㎜	30㎜	40㎜	50㎜
25円	45円	45円	90円	120円	500円

75㎜	100㎜	150㎜	200㎜	250㎜
650円	700円	1,350円	3,350円	4,400円

【改定案】料金表「口径別」H28.4時点

区分		口径	基本料金
一般	小口径	13㎜	690円
		20㎜	760円
		25㎜	870円
	中口径	30㎜	1,180円
		40㎜	1,670円
		50㎜	2,800円
	大口径	75㎜	5,800円
		100㎜	13,000円
		150㎜	50,200円
		200㎜	111,100円
		250㎜	200,900円

従量料金(1㎥当り) 使用水量	小口径	中口径	大口径
0～6㎥	0円	40円	40円
7～10㎥	40円	40円	40円
11～20㎥	130円	180円	180円
21～30㎥	180円	180円	180円
31～50㎥	230円	230円	270円
51～300㎥	270円	270円	270円
301㎥～	310円	310円	310円

※ 表中の金額はすべて「税抜」、「１か月当り」としています。

区分	基本料金	従量料金(1㎥当り)
公衆浴場	20㎜と同じ	75円
臨時	口径に準じる	450円

市民説明会

料金改定の必要性と**具体的な改正案**の説明

改定後の料金
水準は **大阪府内で**
どれくらい（順位）
になるのか

一般会計からの
繰入を検討すべき

消費税増税と
同時期の値上げは
負担が大きい

料金改定（値上げ）
を行うのは
吹田市だけなのか

給水条例改正

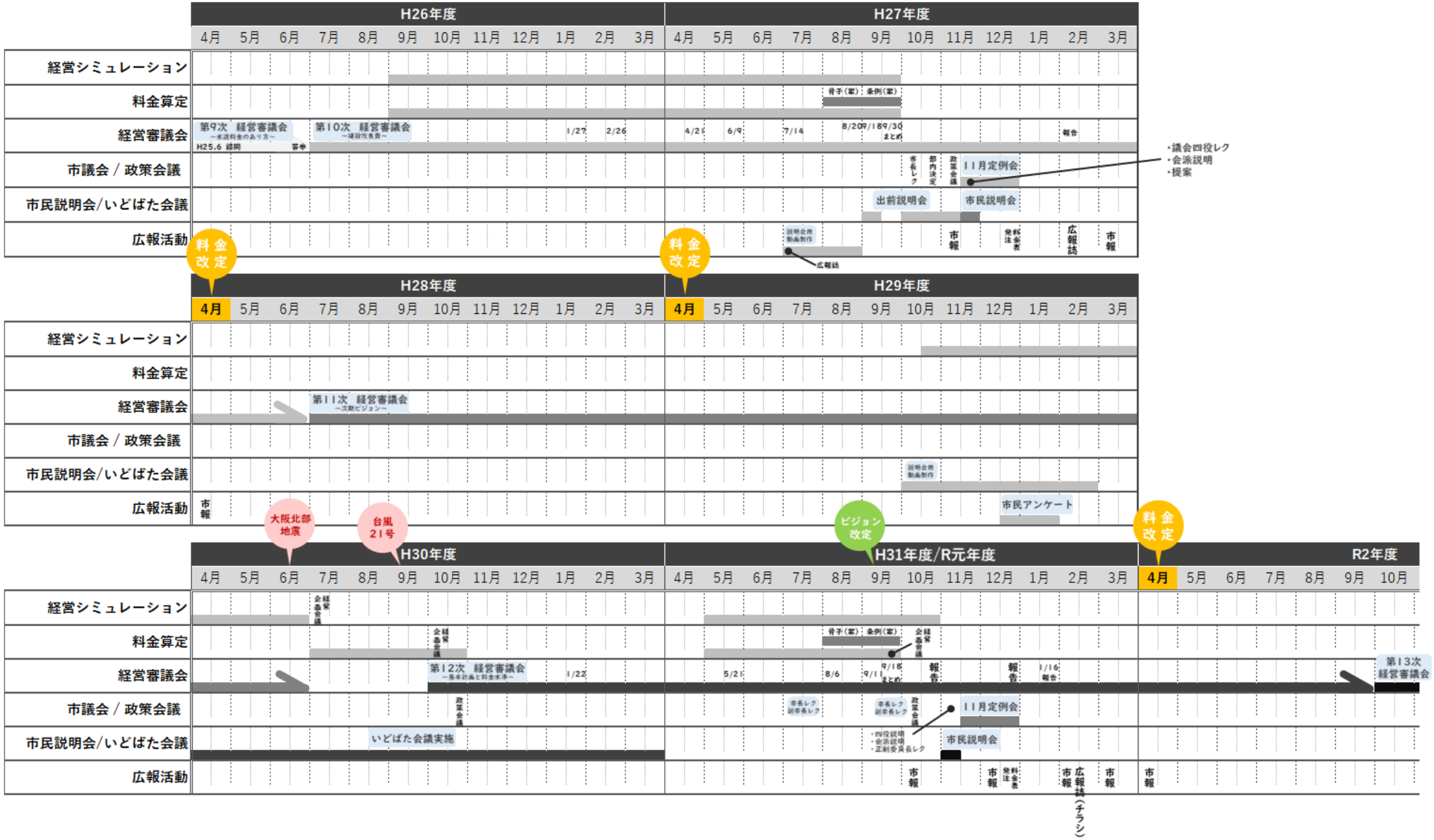
議会の議決が必要

市民の理解を得る

ための取組が重要

どんな スケジュール？

料金改定を
どのように進めた？



シミュレーションと改定影響額のイメージ

令和元年（2019年）10月17日
水道部企画室

参考資料

シミュレーションの条件

	1 平均改定率	2 自己資金と借金の比率（建設改良工事費の財源）	3 基本料金の割合	4 逓増度
現行	―	自己資金 借金 5：5	30%	3.3
ケースA	約30%	9：1	35%	2.7
ケースB	約20%	7：3	35%	2.8
改定案	15.2%	6：4	34%	2.9
ケースC	約10%	5：5	34%	2.9

改定影響額と解説

（1か月当たり、税抜）

水道メーター口径		20mm				40mm	75mm
使用水量		6㎥/月	10㎥/月	20㎥/月	30㎥/月	500㎥/月	1,000㎥/月
イメージ							
現行料金		780円/月	940円/月	2,140円/月	3,940円/月	140,200円/月	302,900円/月
ケースA	料金	1,150円/月	1,310円/月	2,910円/月	5,110円/月	161,200円/月	346,900円/月
	影響額	370円/月	370円/月	770円/月	1,170円/月	21,000円/月	44,000円/月
ケースB	料金	1,080円/月	1,240円/月	2,640円/月	4,740円/月	160,500円/月	345,600円/月
	影響額	300円/月	300円/月	500円/月	800円/月	20,300円/月	42,700円/月
改定案	料金	990円/月	1,150円/月	2,550円/月	4,550円/月	150,800円/月	324,900円/月
	影響額	210円/月	210円/月	410円/月	610円/月	10,600円/月	22,000円/月
ケースC	料金	950円/月	1,110円/月	2,410円/月	4,310円/月	145,600円/月	314,900円/月
	影響額	170円/月	170円/月	270円/月	370円/月	5,400円/月	12,000円/月

解　説

- 借金への依存度と逓増度が高く、基本料金の割合が低いことが課題です。
- このままの水準では令和2年度(2020年度)末の運転資金残高が最低限必要な15億円を下回ります。

- 借金をなるべく少なくしたシミュレーションです。
- 将来世代の負担は軽減されますが、現世代の使用者の負担が大きくなります。
（生活者の水道料金が府内ワースト２位）

- ケースＡとケースＣの中間のシミュレーションです。

- 水道事業経営審議会の意見に基づいて設定した改定案です。
- 原価割れの改善、将来世代の負担、生活者への配慮などを総合的に勘案しています。

- 最も借金に依存するシミュレーションです。
- 現世代の負担は軽減できますが、将来世代に過度な負担を残すことになります。
（企業債残高対給水収益比率３６４%）
類似団体平均 約260%

前回の料金改定での先送り工事

基幹管路の耐震化工事

口径：φ300mm～φ700mm
延長合計：4,420m
事業費合計：約１５億円(税込)

① 山田丘配水管布設工事
② 万博･山田送水管布設工事
③ 樫の木･万博送水管布設工事
④ 千里山送水管布設工事
⑤ 南金田２丁目配水管布設工事

原案17.7%から10.0%への修正に伴う財源不足により

本来必要な工事を先送り

その結果 **目標：基幹管路の耐震化率51%** が未達成に

※令和2年度(2020年度)目標値

今後必要となる主な工事

浄配水施設整備事業　10年間 総事業費 約337億円（税込）

◆ 片山浄水所場内整備工事（R３～R7）など
☞ 旧浄水処理施設の撤去や防災拠点の機能強化などを行います。

基幹管路整備事業

◆ 南千里分岐片山浄水所送水管布設工事（R３～R10）など
☞ 南千里から片山浄水所までの企業団水の供給ルートを耐震化します。

配水支管整備事業

◆ 経年管更新工事（年間８km）など
☞ 古くなった水道管を取替えます。年間5kmからペースアップします。

強靭 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

※すいすいビジョン2029　基本方針

ケースCの場合は施設整備の先送りが必要

施設整備費を縮減するために本来必要な工事を先送りせざるを得なくなります。
左記の片山浄水所場内整備工事や南千里分岐片山浄水所送水管布設工事は、老朽化した泉浄水所のいざというときのバックアップに資するものであり、これらを先送りするとした場合は、市域南部の安定給水確保に著しく支障が生じます。

先送りが必要となる施設整備のボリューム（５年間）

基幹管路整備事業　約 7 km（1年当たり 約1.4km）
または
経年管更新工事　約 15 km（1年当たり 約3.1km）

※起債充当率4割として算出

議会において多かった質問・意見

1

水道料金の改定案について

～令和元年（2019年）11月定例会 議案提出に向けて～

会派説明資料
令和元年(2019年)10月18日～

吹田市水道部

3

道料金の改定案
趣旨・概要

年(1997年)から19年間値上げせず、府内で最も安い料金水準

来にわたる厳しい経営環境

施設の更新費用の増大　水の使用量の減少に伴う収入減　など

平成28年(2016年)から段階的に10%の料金値上げ

経営戦略
『すいすいビジョン2029』
令和元年(2019年)9月策定

料金算定期間を経過し、水道施設更新の財源不足の状況

水道料金改定（値上げ）による財源確保・経営基盤強化が必要

7

道料金の改定案
趣旨・概要（近年の状況）

(2018年)12月に水道の基盤強化を目的とした改正水道法が公布されました。また、
経営審議会をはじめ、料金水準の適正化などに関して様々な意見が出されています。

水道法の改正

道の基盤強化

携の推進

携の推進

適切な資産管理の推進

◆ 指定給水装置工事事業者制度の改善

◆ 健全経営確保のための公正妥当な水道料金設定など

改正水道法施行規則
令和元年(2019年)10月施行
水道料金は3年後から5年後までの期間ごとの適切な時期に見直しを行うものであること

市民・外部機関の意見

市民アンケート
- 「水道施設の耐震化の重要性を感じている」全体の98.1%

市民アンケート（無作為抽出2,000人）

パブリックコメント
- 「企業債残高対給水収益比率を、せめて300%までとするのが適切」

すいすいビジョン素案に対する市民意見

吹田市水道事業経営審議会
- 「一層の経営効率化に取り組み、料金水準の適正化を図ること」
- 「将来に過度な負担を残さないよう、企業債の借入額を抑えること」
- 「生活者の過度な負担とならないよう十分配慮すること」　など

「水道事業の経営状況と適正な料金水準」第12次水道事業経営審議会意見のまとめ

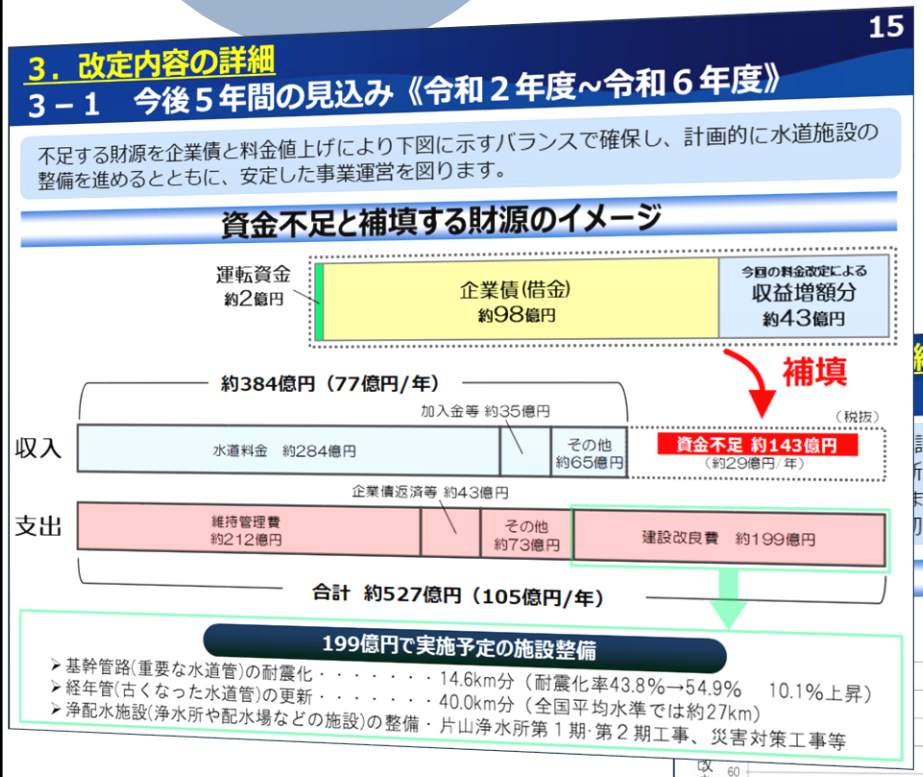
吹田市監査委員
- 「料金水準の検証を行ってください」

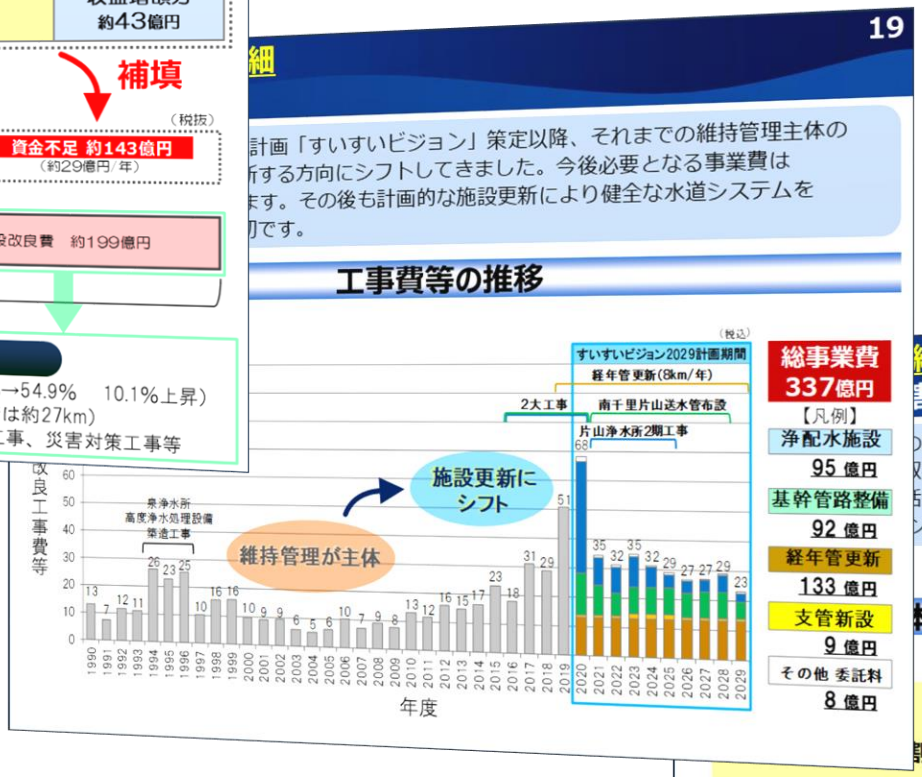
平成30年度（2018年度）
吹田市公営企業会計決算審査意見書

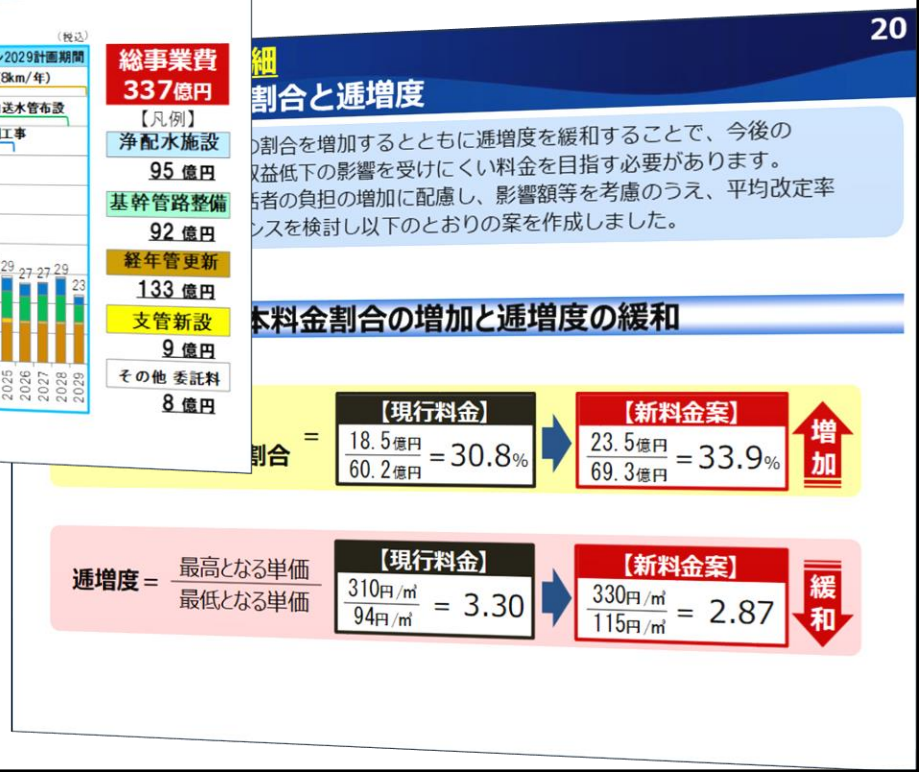
監査法人
- 「料金改定は必須である」

吹田市水道事業経営戦略策定に係る助言業務報告書

議会において多かった質問・意見







多かった意見や質問

なぜ
今の時期なのか

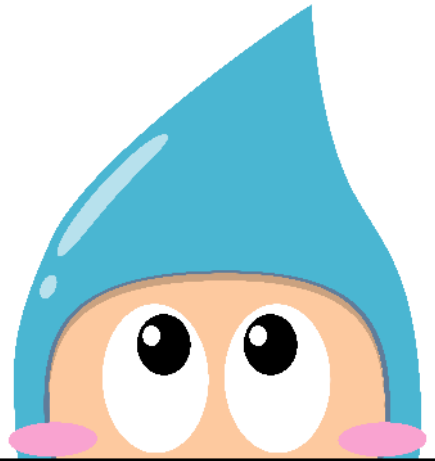
府内事業体の
水道料金と
比較して何番目に
安くなるのか

平成28年度の
料金改定で**改定率**
を修正したことの
影響はあるのか

経営努力
効率化は
どんなことを
してきたのか

激変緩和を
図ることは
可能か

まとめると



H28

段階的に
10.0%
値上げ

料金算定期間
3年間

19年ぶりの料金値上げ

消費税率改正 8%から10%に が予定されていた

市民負担の軽減を求める意見が多数

賛成多数で可決

賛成 26名 ※議長は含まず

反対 9名

R2

値上げ
15.2%

料金算定期間
5年間

H30年度に
発生した災害
（大阪北部地震　台風21号）

水道法改正
水道管の老朽化を
メディアが取り上げ

全会一致で
可 決

賛成　35名 ※議長は含まず

反対　0名

水道事業に対する
関心や理解の高まり

料金改定を
どのように進めた？

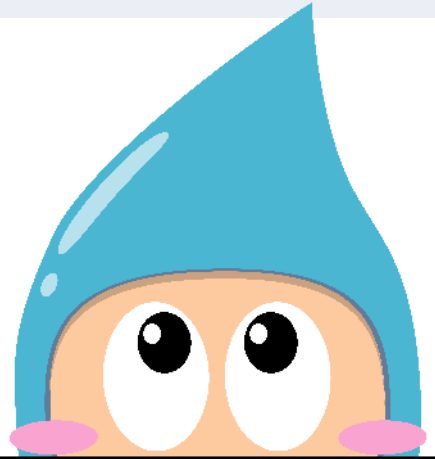
共通していた点

他の事業体との**比較**

➡ 料金水準
職員１人当たりの指標

公営企業としての
経営努力に関すること

➡ 経費削減
効率化



変化した点

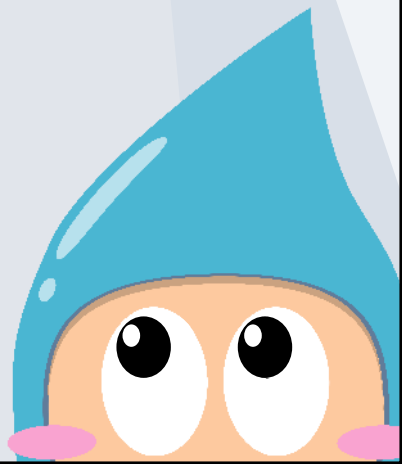
水道事業に対する
市民理解度・関心度が向上

➡ 独立採算制
施設整備の重要性
料金改定への理解

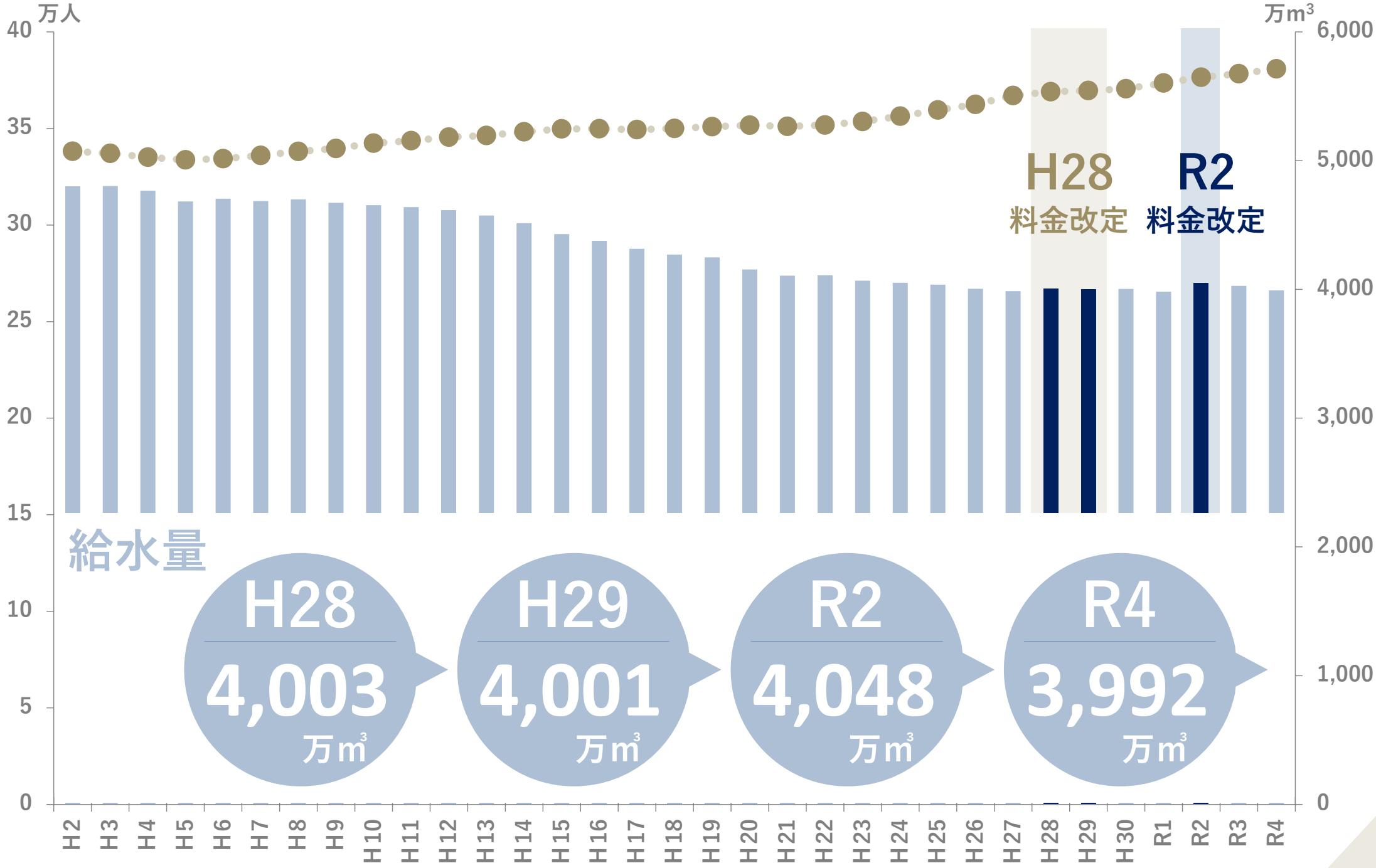
水道施設の**強靭化**に対する
意識の向上

➡ 災害を実際に経験したこと
水道界を取り巻く社会情勢の変化

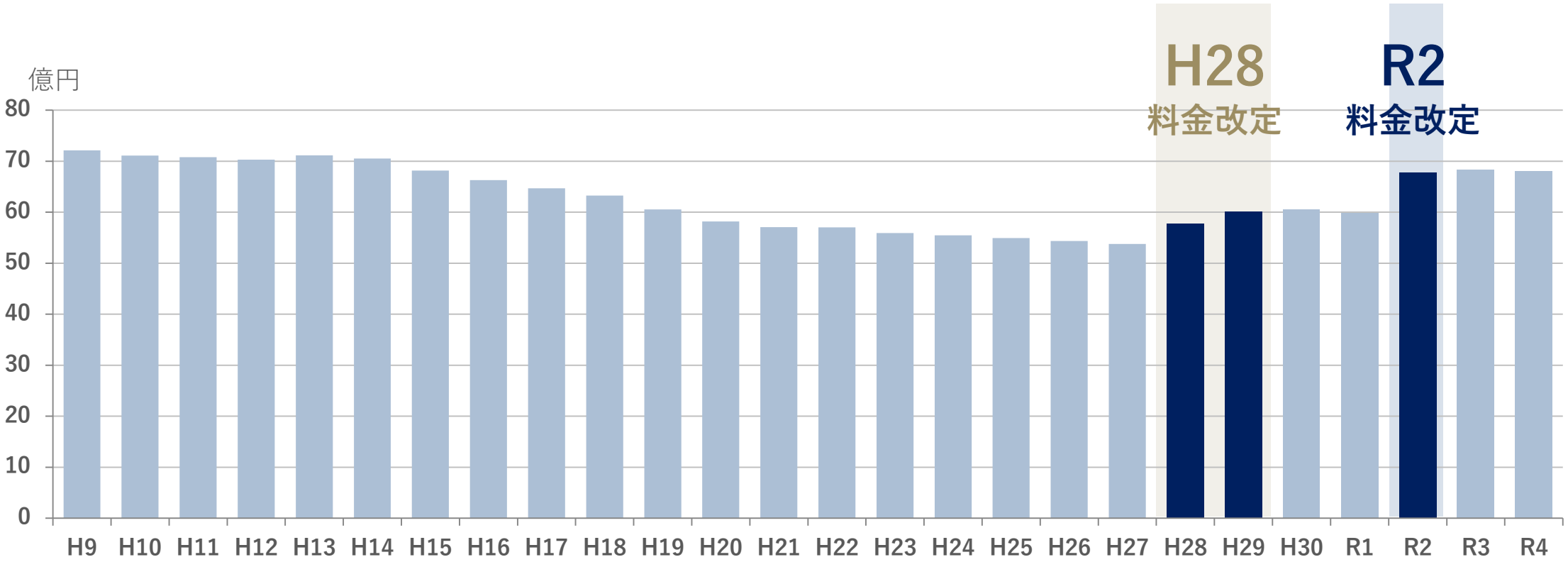
料金改定**実施後の状況**は？



給水量の推移


万人
万m³
40
35
30
25
20
15
10
5
0
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
H28
料金改定
R2
料金改定
給水量
H28
4,003
万m³
H29
4,001
万m³
R2
4,048
万m³
R4
3,992
万m³
H2
H3
H4
H5
H6
H7
H8
H9
H10
H11
H12
H13
H14
H15
H16
H17
H18
H19
H20
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
H30
R1
R2
R3
R4

給水収益の推移

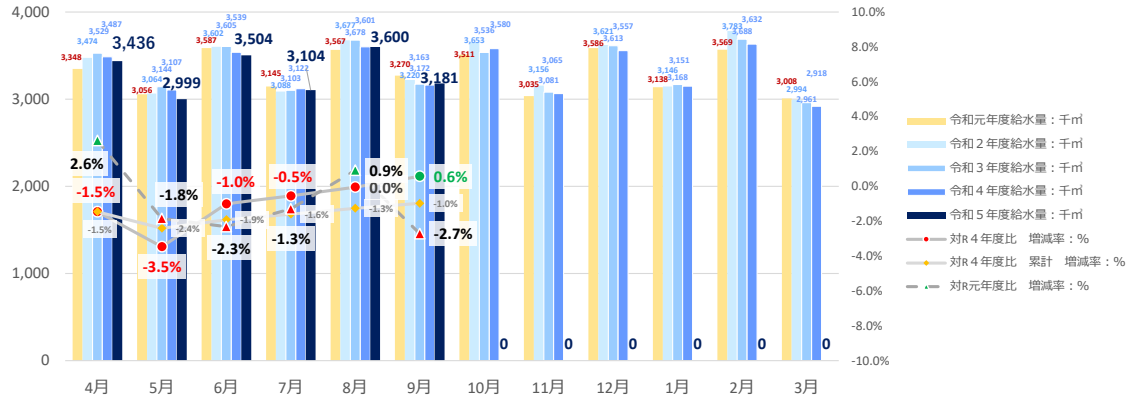


給水収益

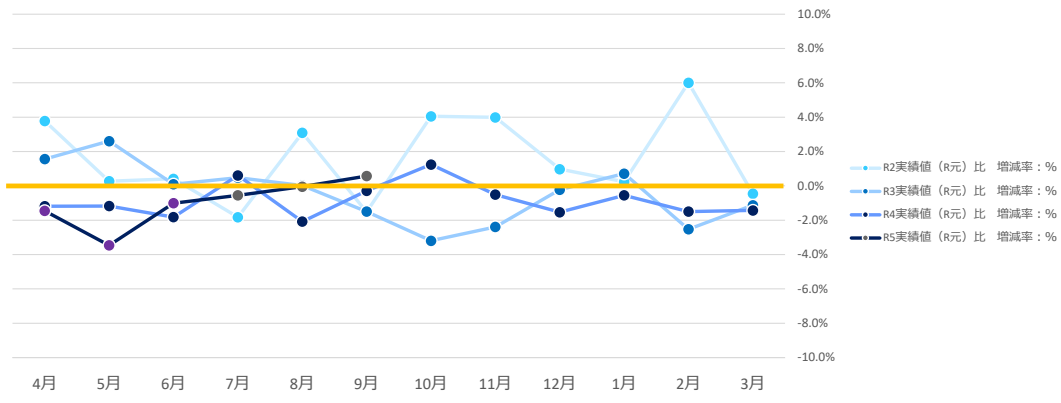
H28	H29	R2	R4
57.8 億円	60.1 億円	67.8 億円	68.0 億円

給水量の推移

R2-R5　給水量の推移

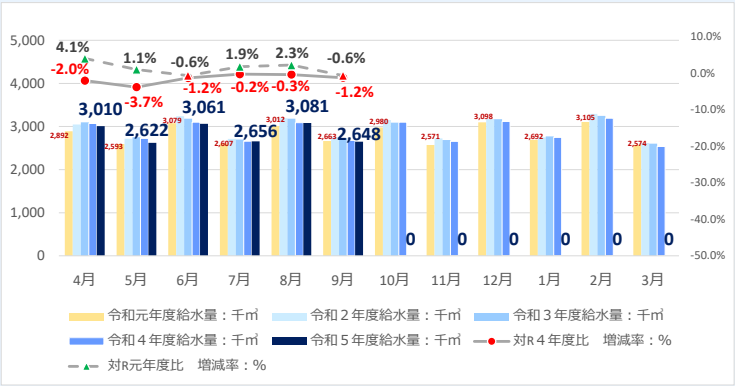


R2-R5実績値　R元比　増減率の推移

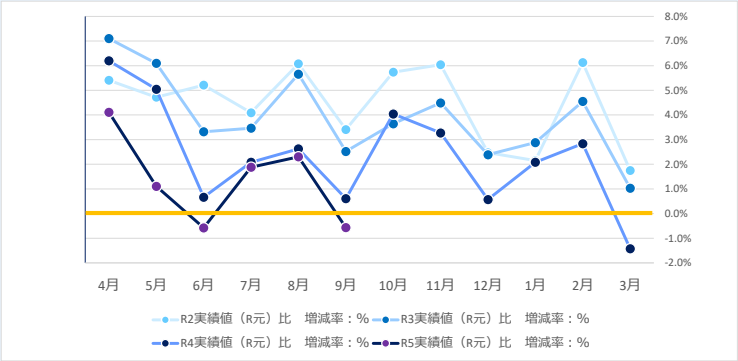


小口径（φ13mm～φ25mm）

R2-R5　給水量の推移

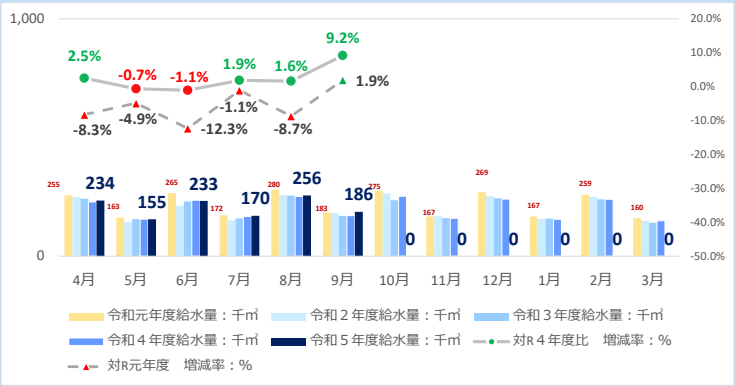


R2-R5実績値　R元比 増減率の推移

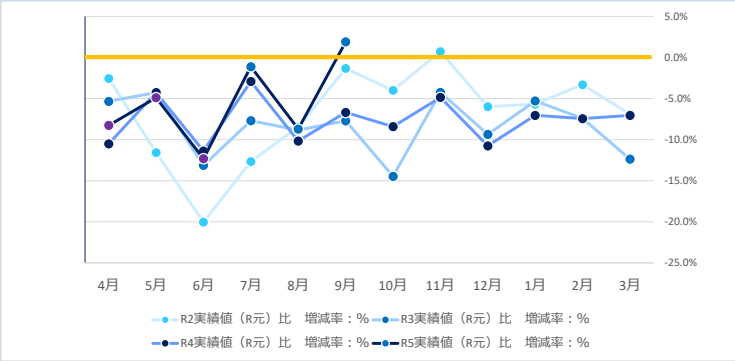


中口径（φ30mm～φ50mm）

R2-R5　給水量の推移

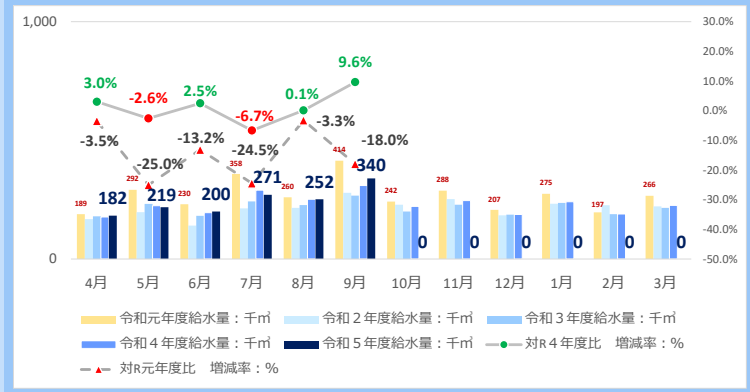


R2-R5実績値　R元比 増減率の推移

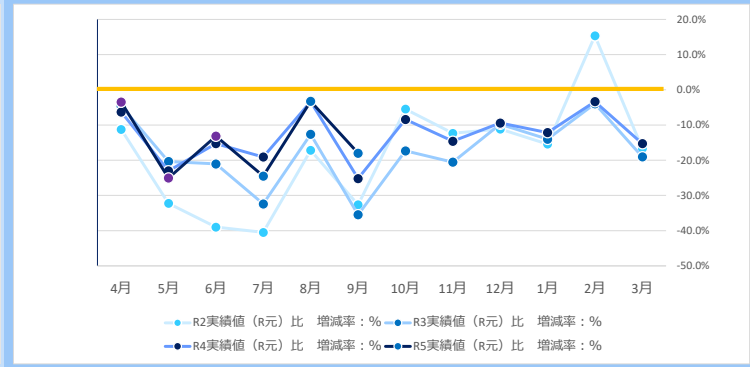


大口径（φ75mm～φ250mm）

R2-R5　給水量の推移

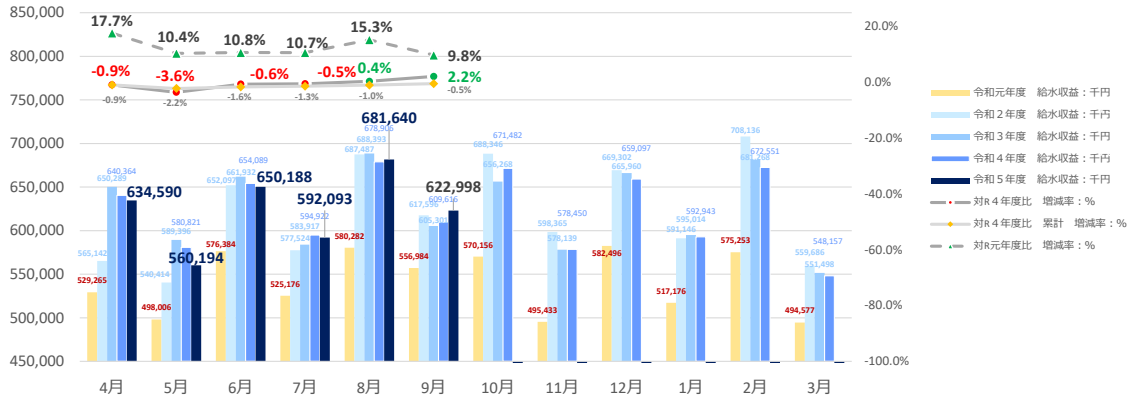


R2-R5実績値　R元比 増減率の推移

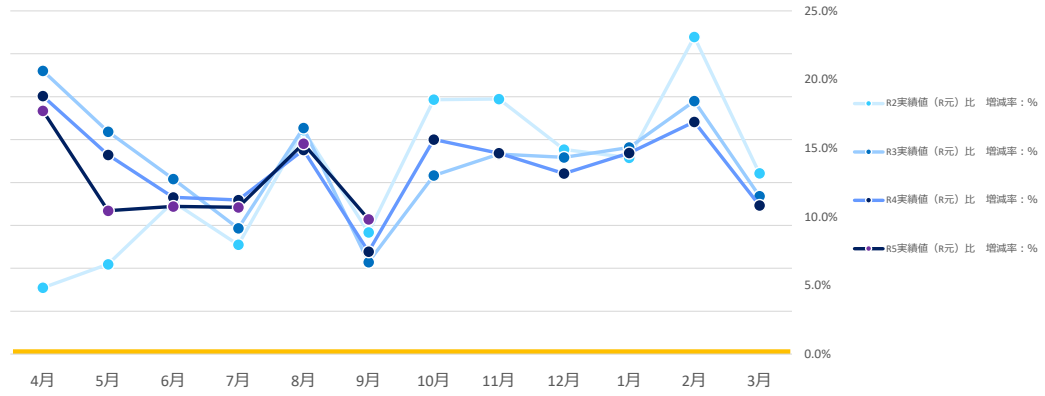


給水収益の推移

R2-R5　給水収益の推移

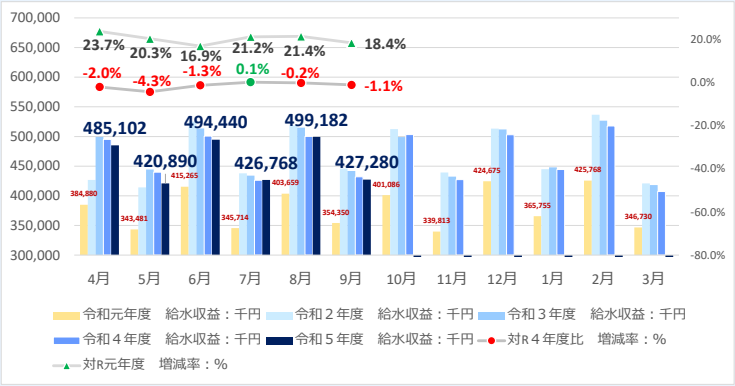


R2-R5実績値　R元比　増減率の推移

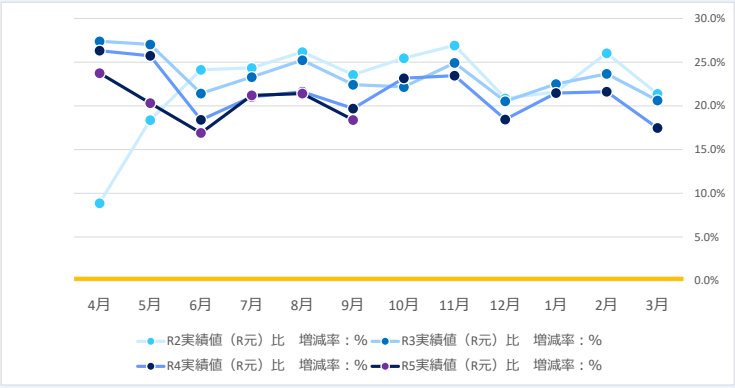


小口径（φ13mm～φ25mm）

R2-R5　給水収益の推移

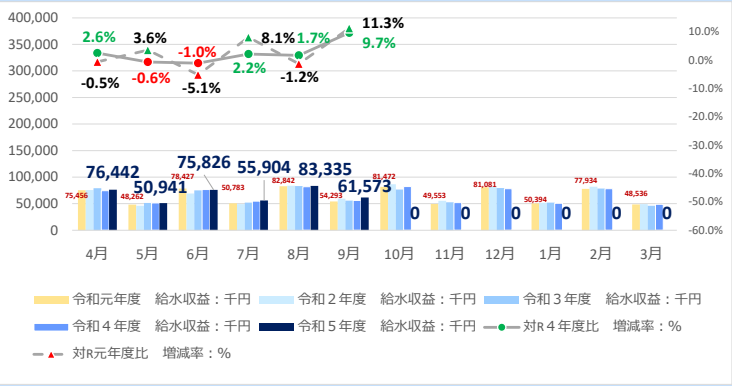


R2-R5実績値　R元比 増減率の推移

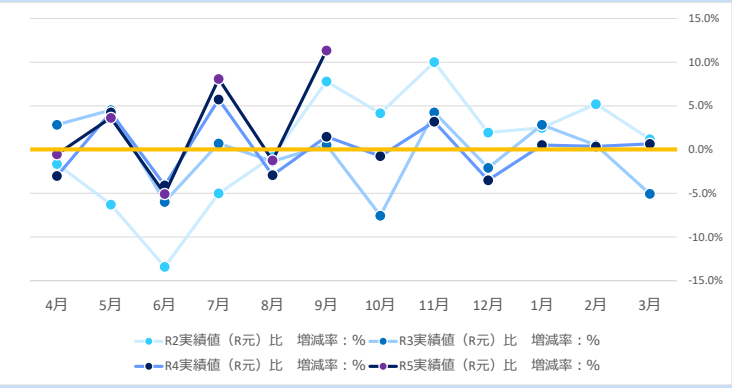


中口径（φ30mm～φ50mm）

R2-R5　給水収益の推移

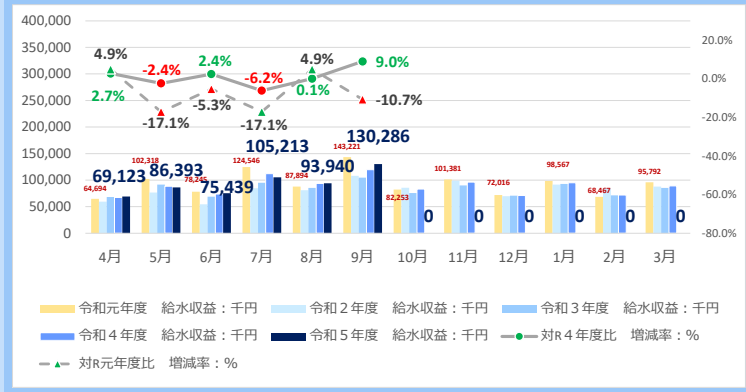


R2-R5実績値　R元比 増減率の推移

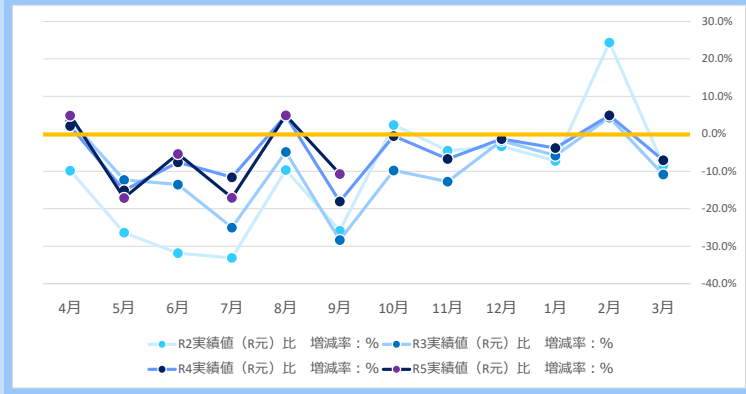


大口径（φ75mm～φ250mm）

R2-R5　給水収益の推移



R2-R5実績値　R元比 増減率の推移

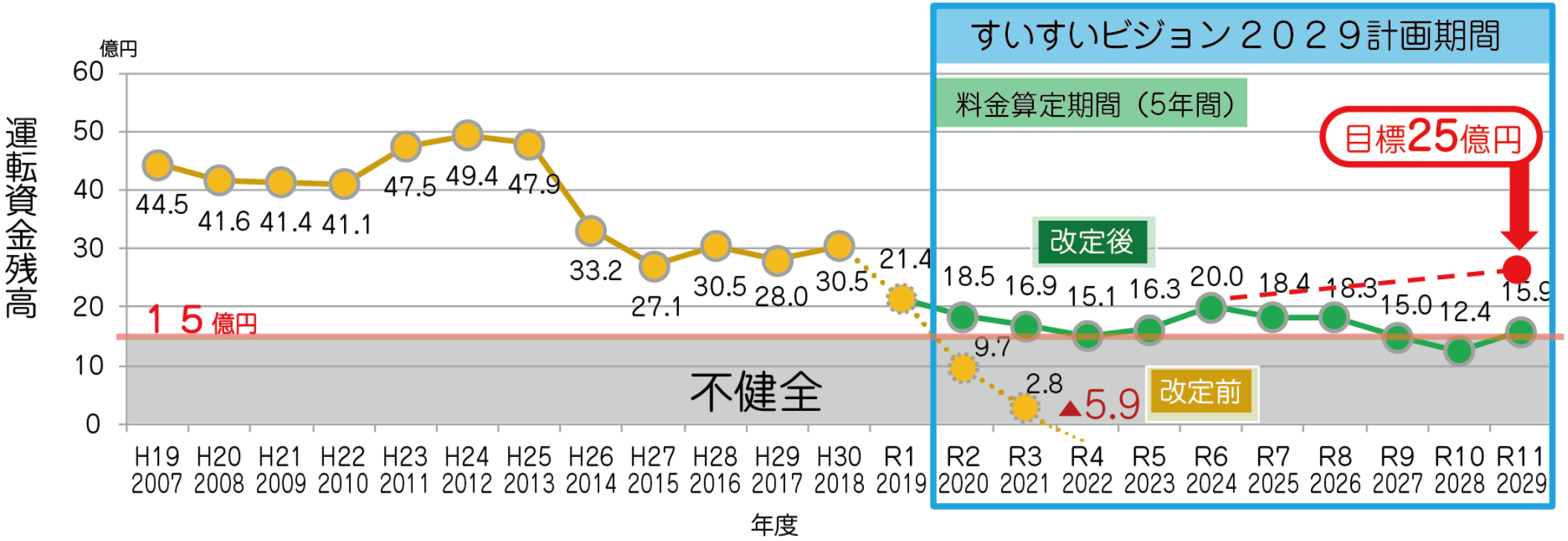


財政目標との関連

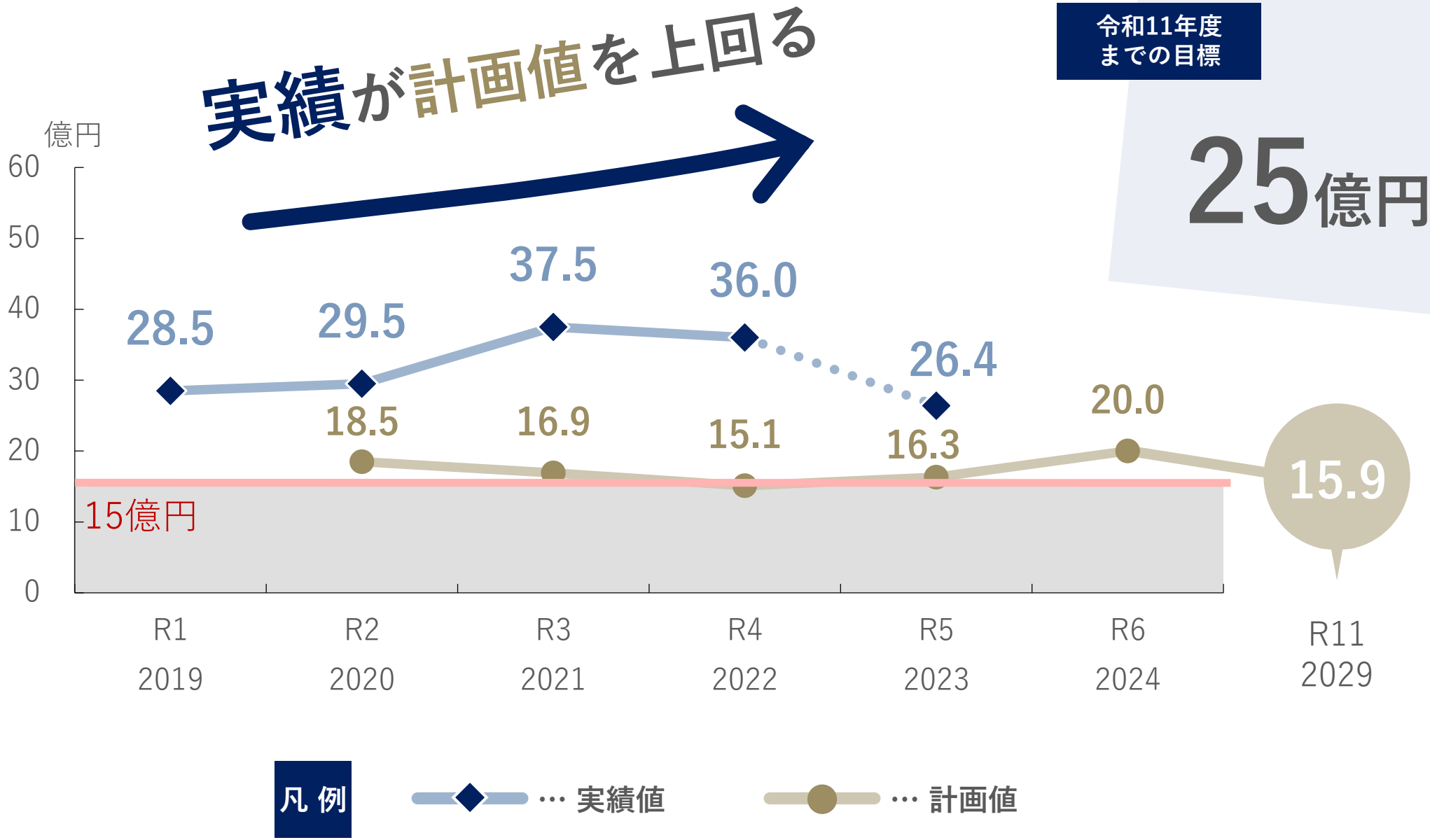
本市の場合

運転資金残高

運転資金残高	目標 25億円	＝	事業経営上の最低限必要な金額 15億円（1か月の最大支払額＋翌年度の企業債償還金）	＋	災害時に収入が途絶える期間の備え 10億円（2か月分×5億円/月）



運転資金残高の推移

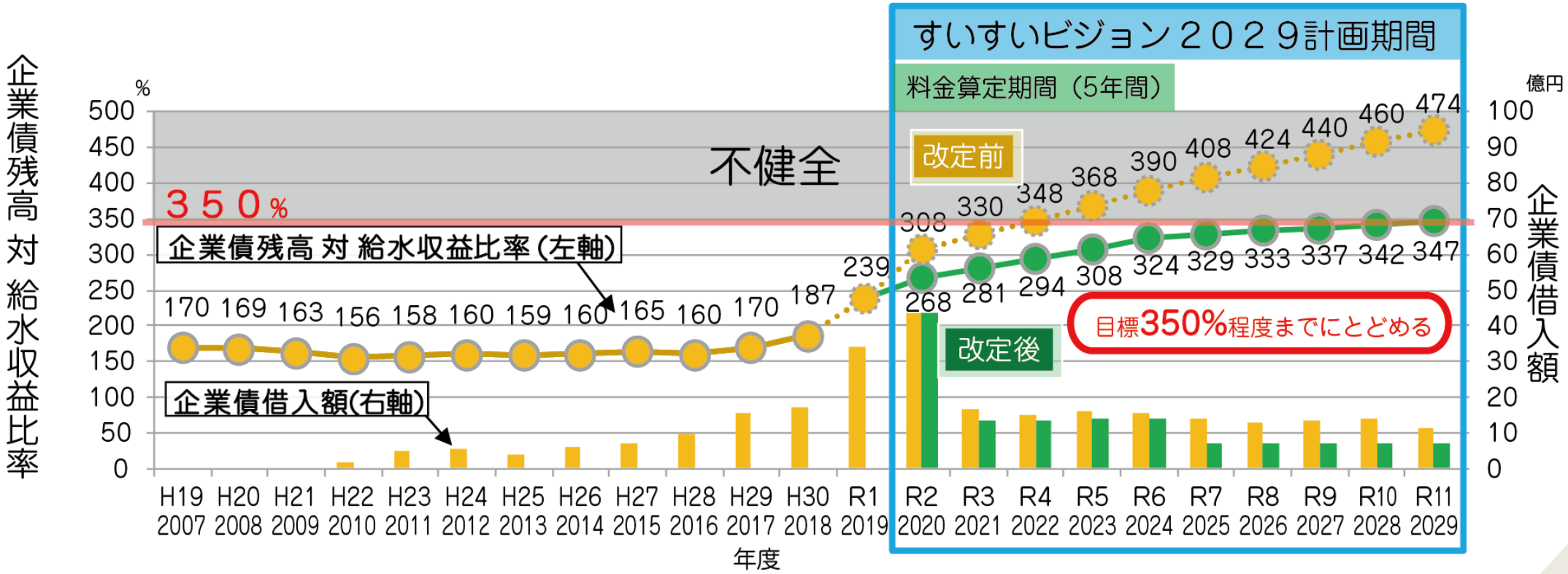

実績が計画値を上回る
令和11年度
までの目標
25億円
億円
60
50
40
30
20
10
0
28.5
29.5
37.5
36.0
26.4
18.5
16.9
15.1
16.3
20.0
15.9
15億円
R1
2019
R2
2020
R3
2021
R4
2022
R5
2023
R6
2024
R11
2029
凡 例
… 実績値
… 計画値

財政目標との関連

本市の場合

企業債残高 対 給水収益比率

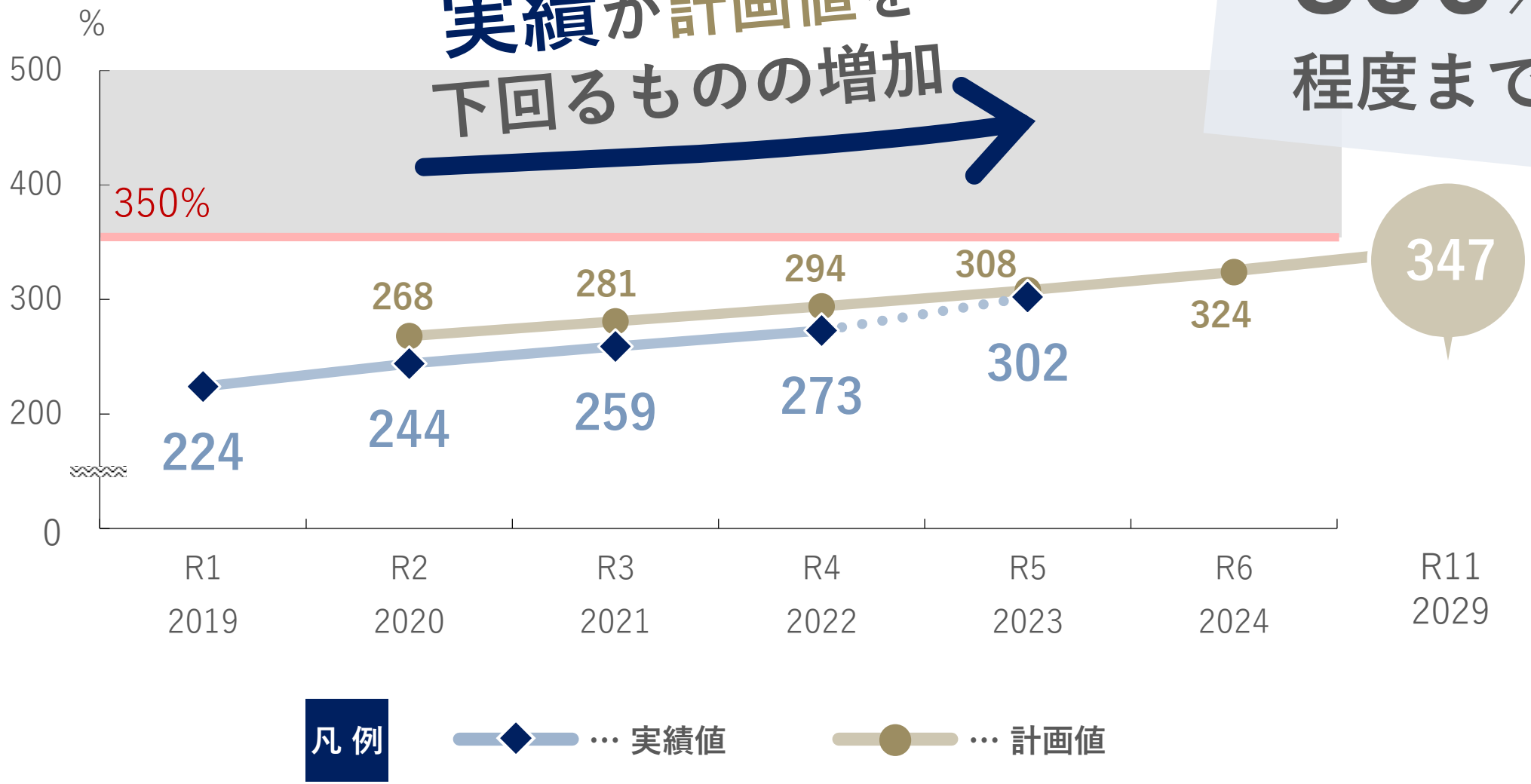
企業債残高対給水収益比率	目 標 350％ 程度まで	企業債残高対給水収益比率に性質が近い**「将来負担比率」**の数値基準を参考にします。地方公共団体（市町村の一般会計）では、この指標が350％を超えると早期健全化団体になります。



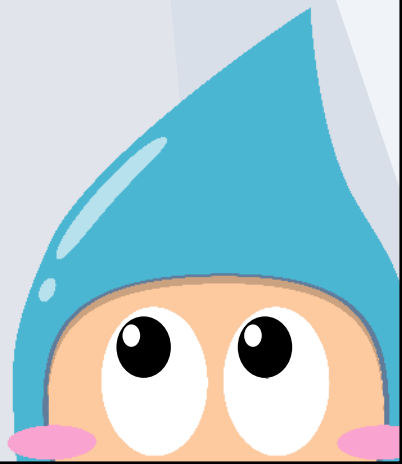
企業債残高対給水収益比率の推移

令和11年度までの目標

350%程度まで



料金改定に**備えて**



市民理解を得る

取組が重要

考え方を残す

データの**整理**

料金改定時
だけではなく、
普段からの実施

市民理解を得る

取組が重要

ノウハウの継承
属人化を防ぐ

考え方を残す
データの整理

このまちの水の未来を考える

吹田市水道部

SUITA Public Water Utility

企画室 経営グループ
Tel ：06-6384-1253
Mail: w-keiri@city.suita.osaka.jp